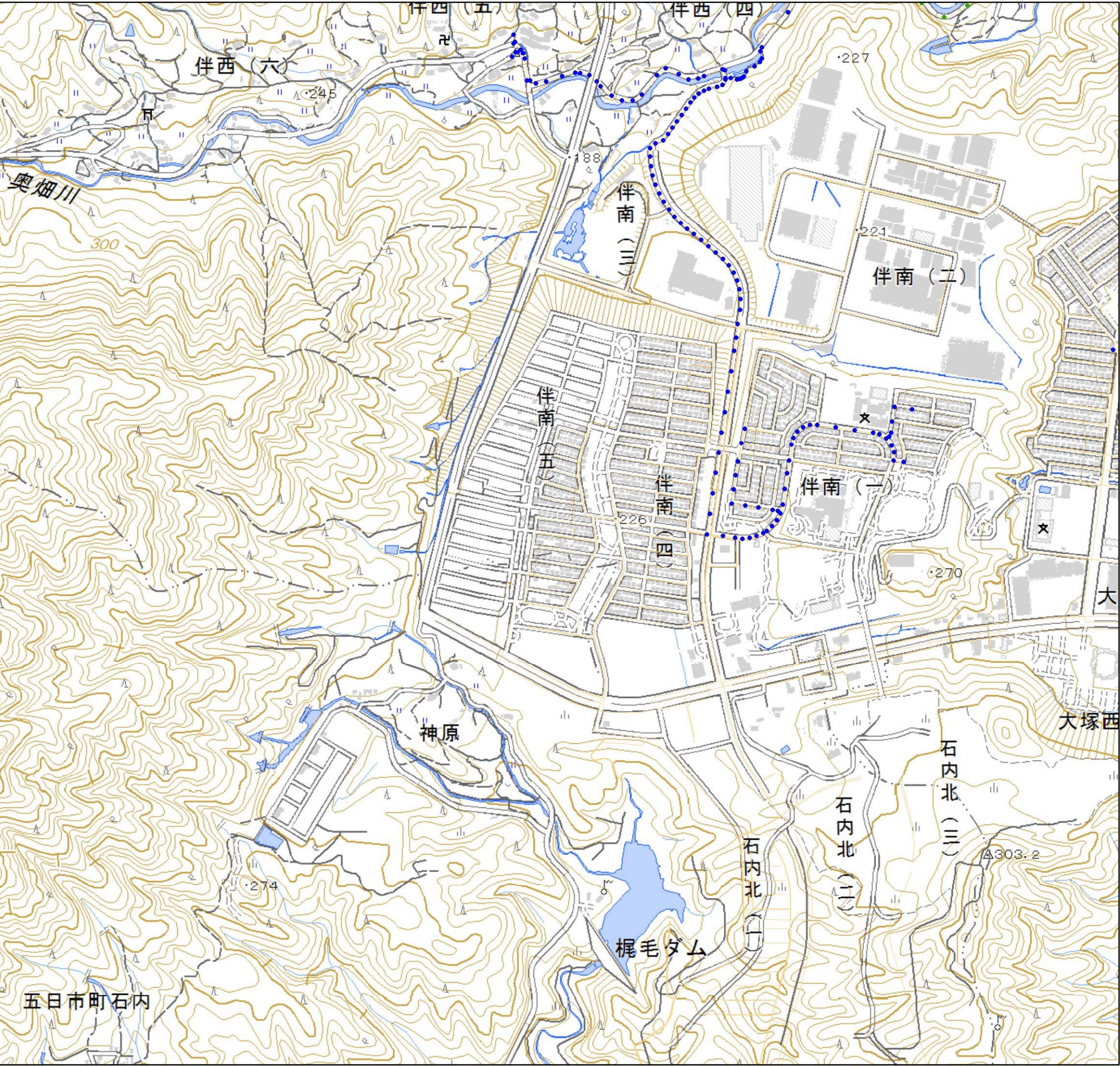




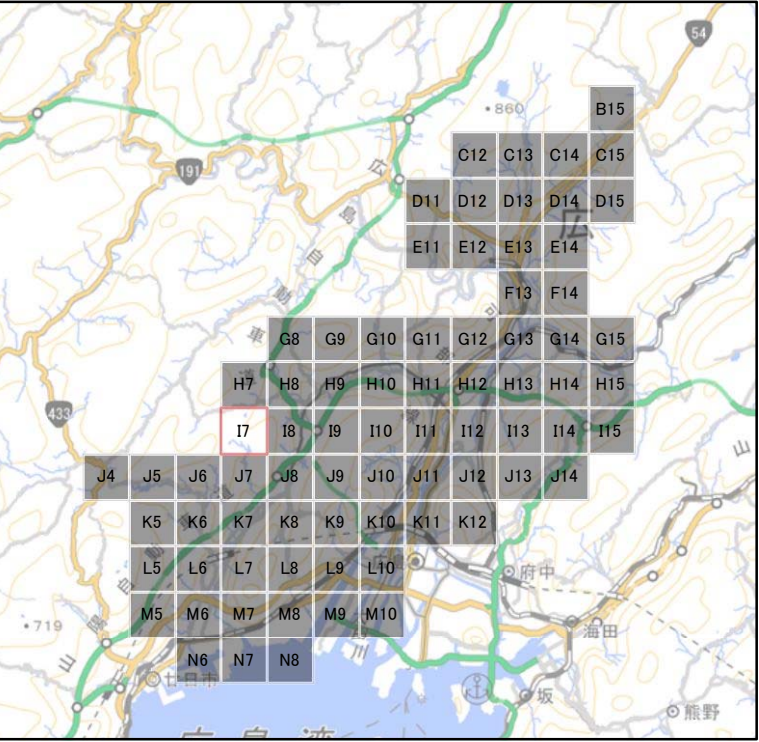
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

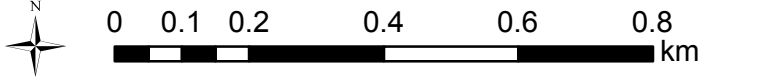
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

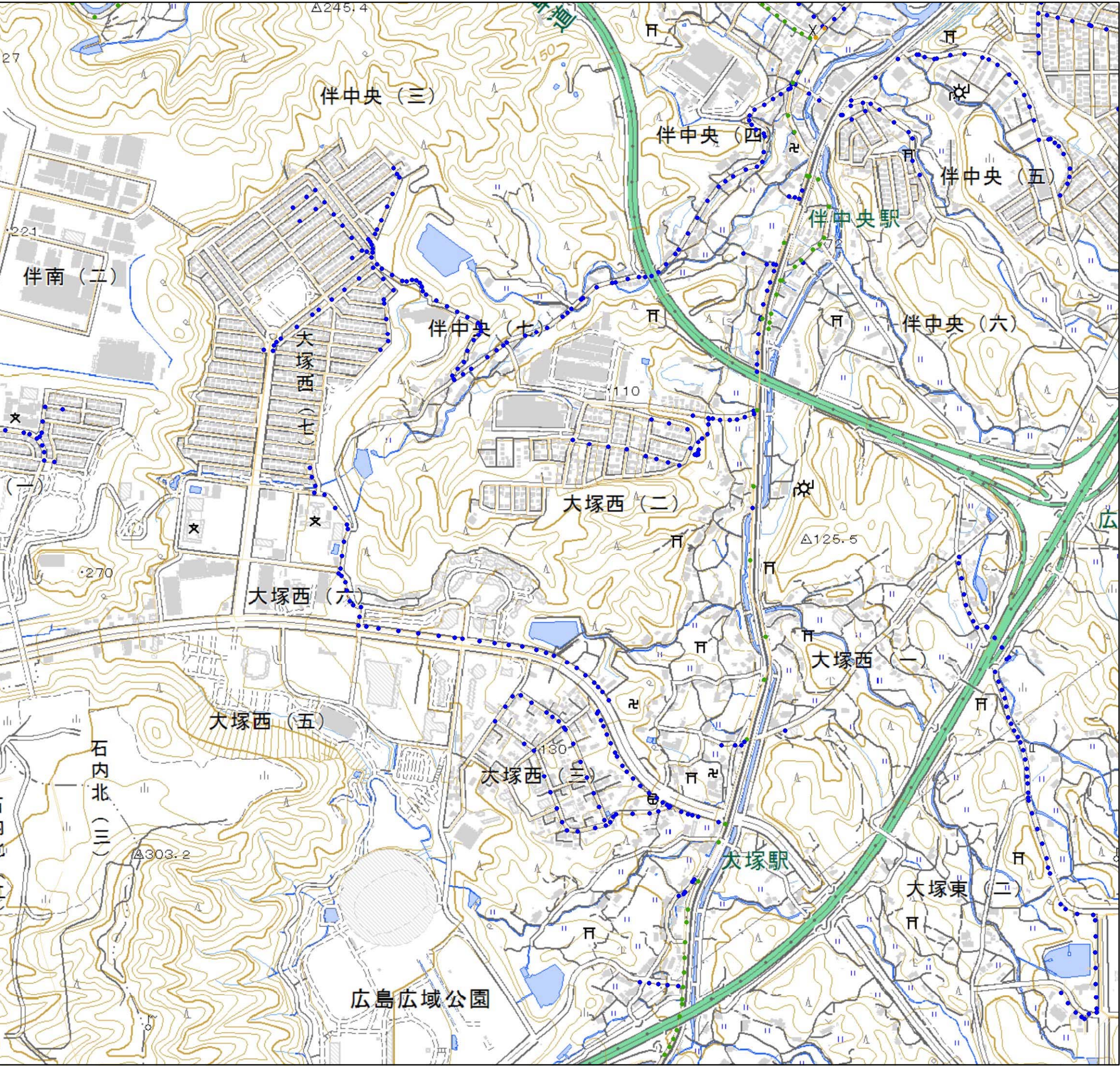
※夏季のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





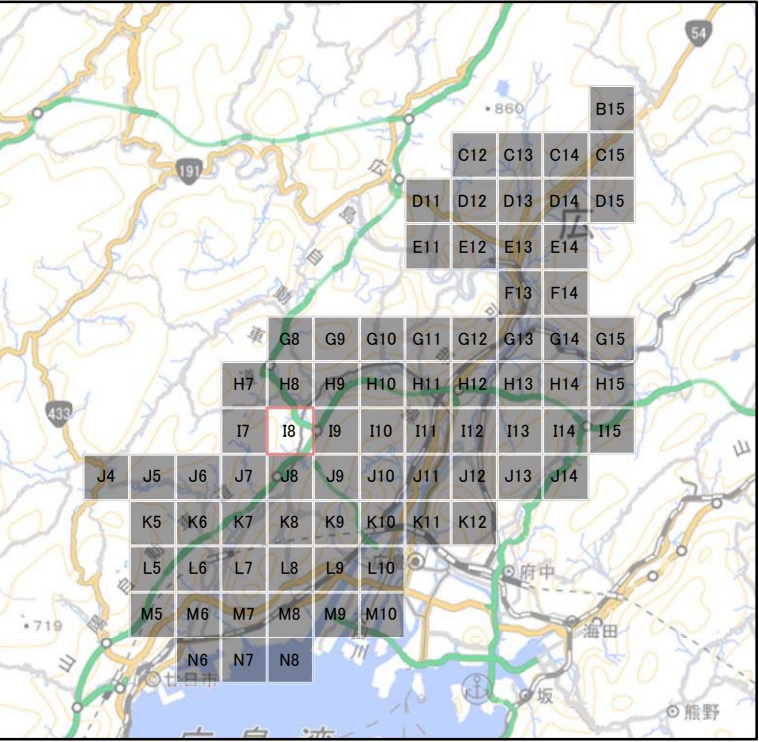
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

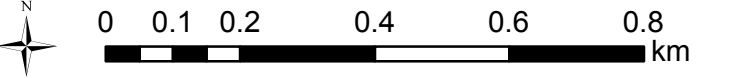
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

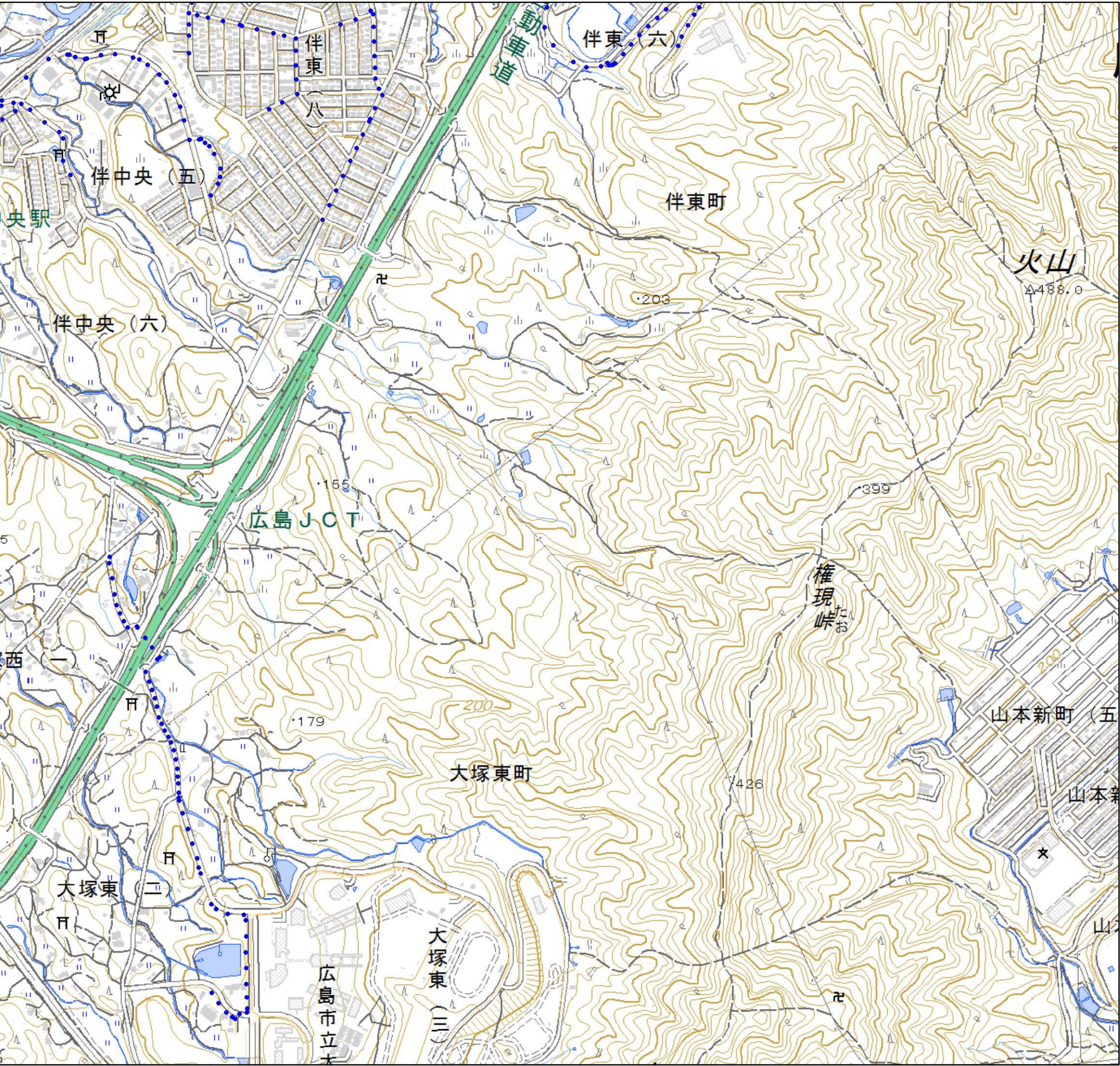
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





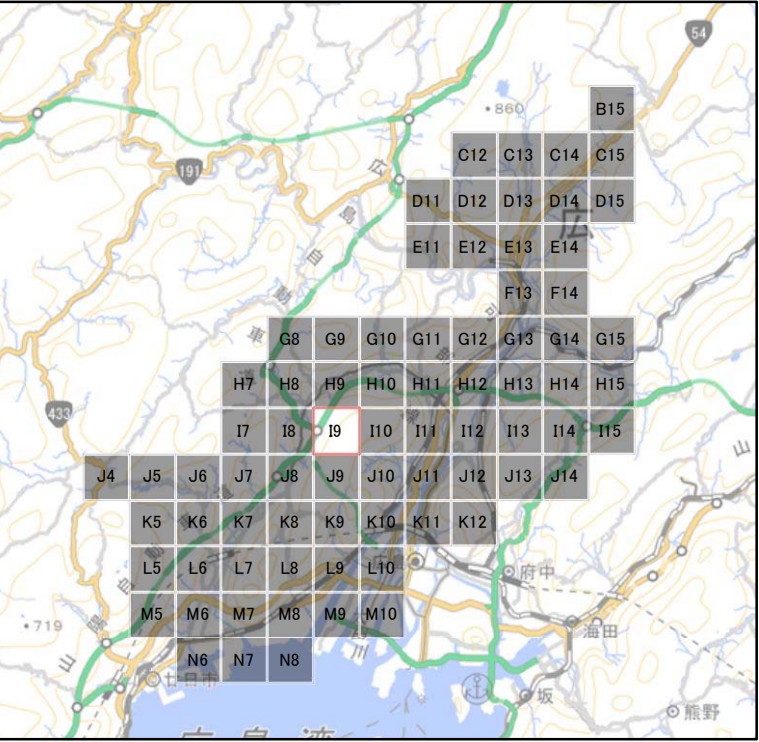
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

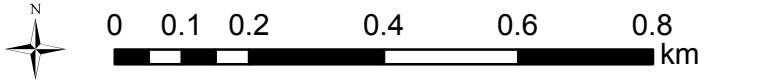
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

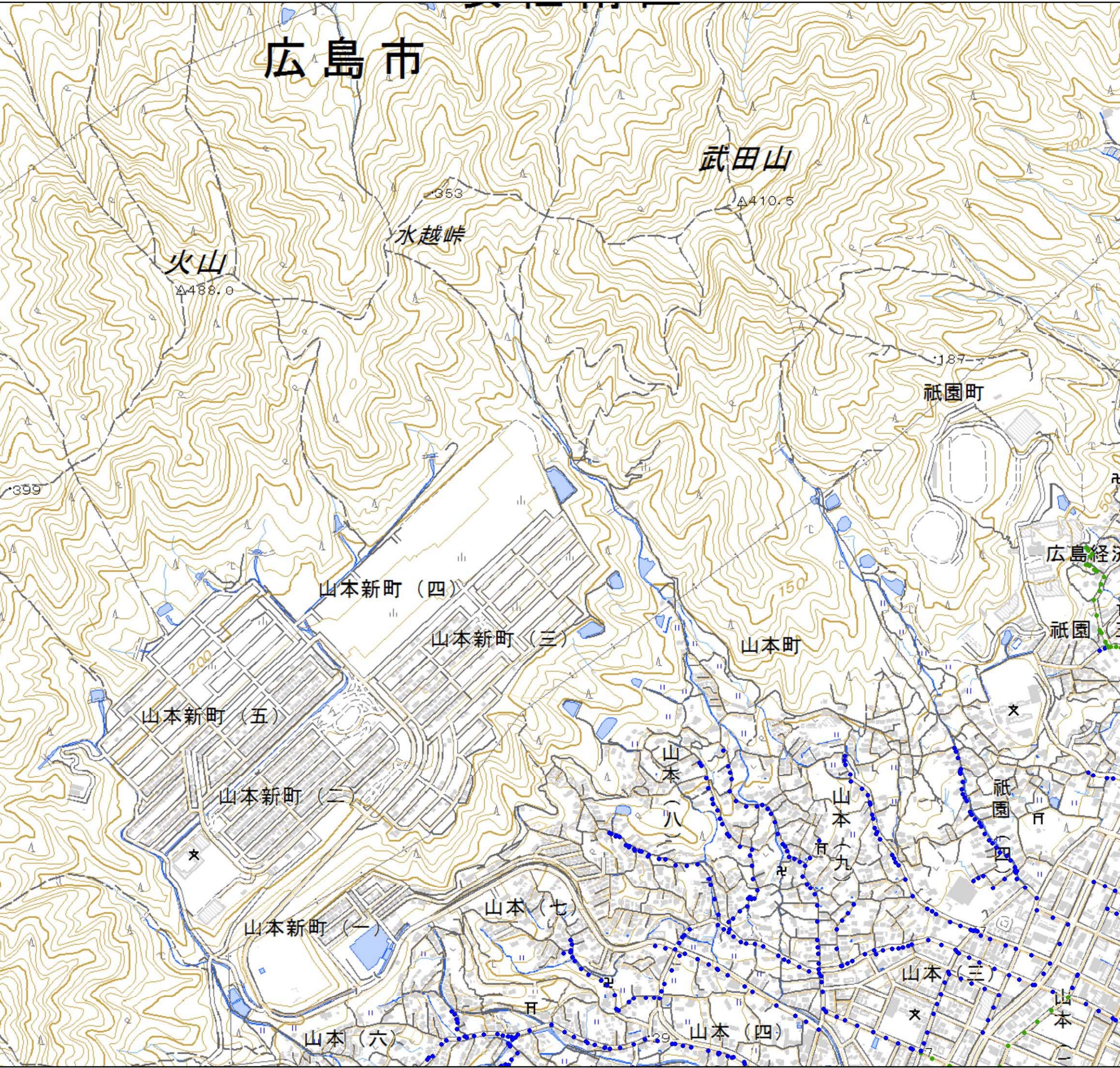
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





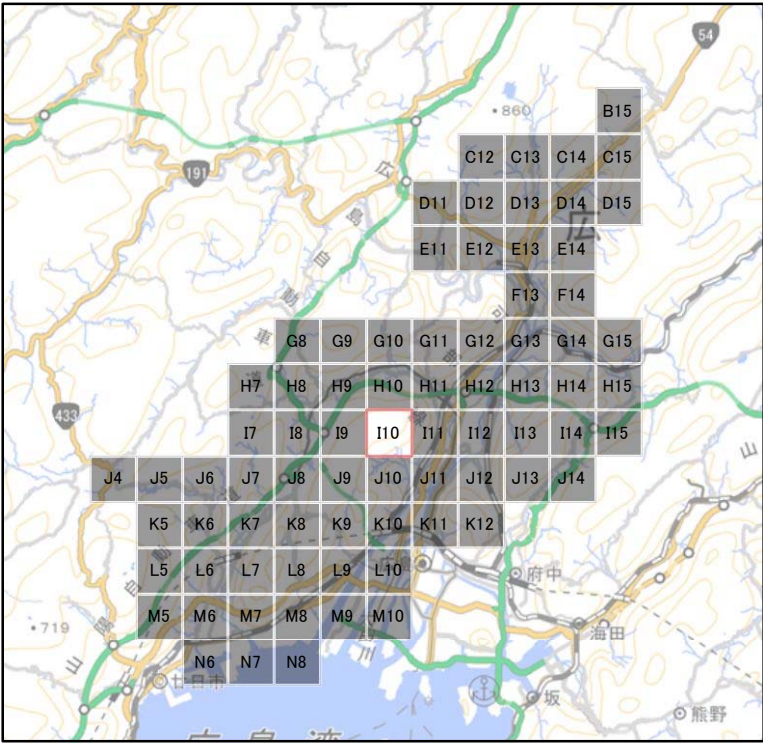
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～	10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)
10,001 ～	100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)
100,001 ～	1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～	[MJ/日]	(29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

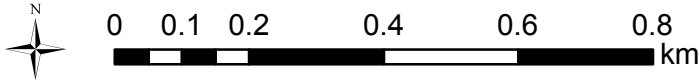
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

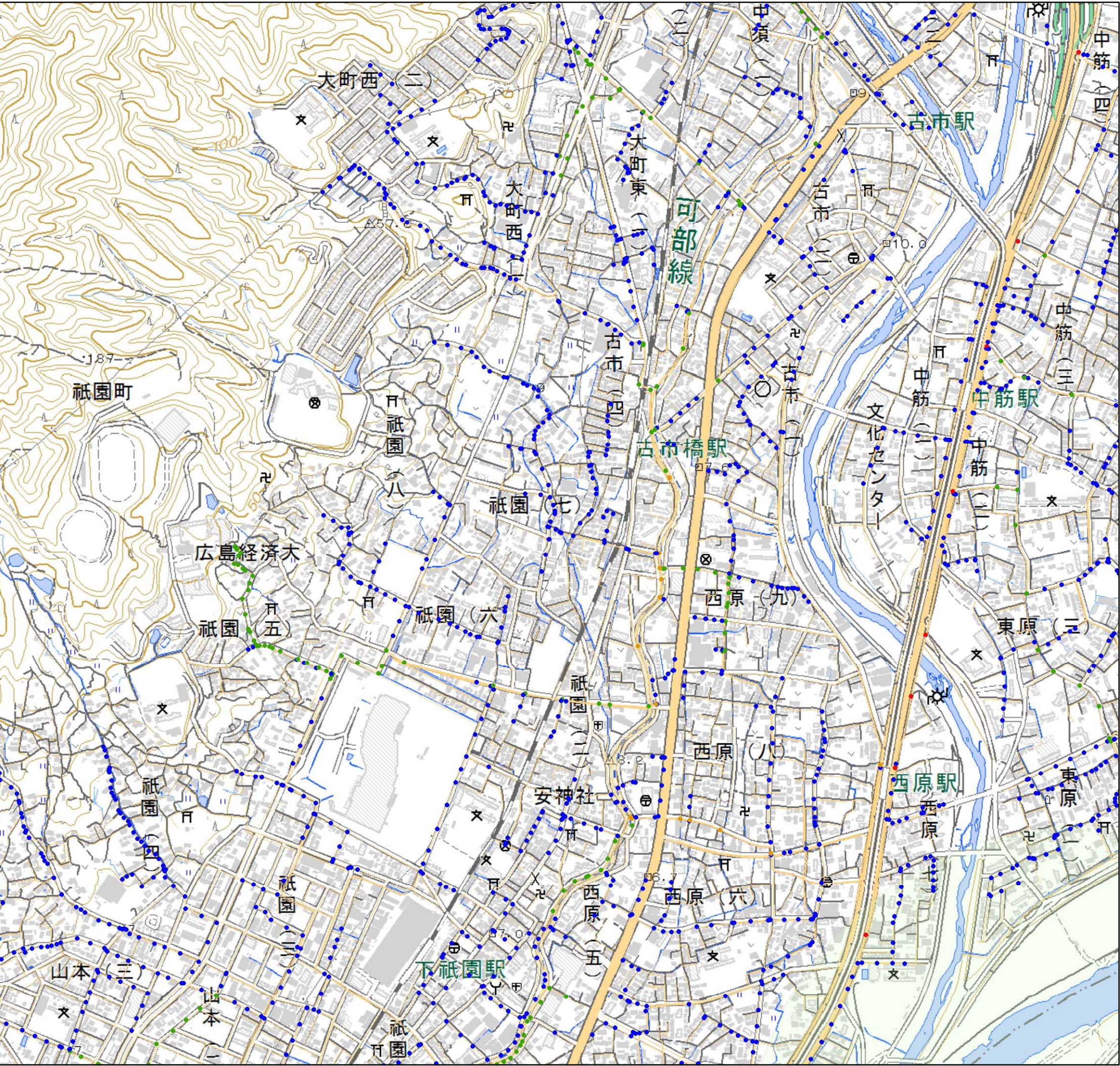
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





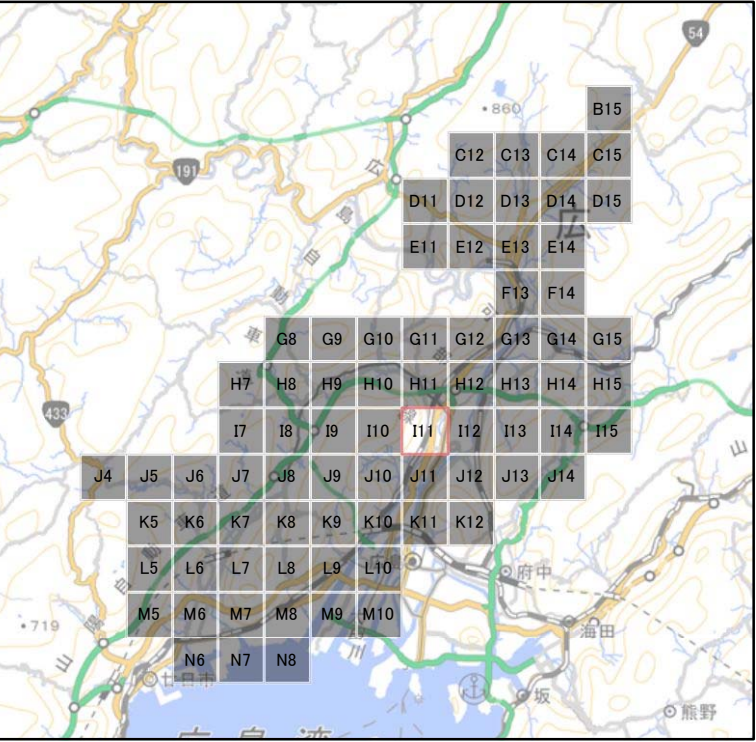
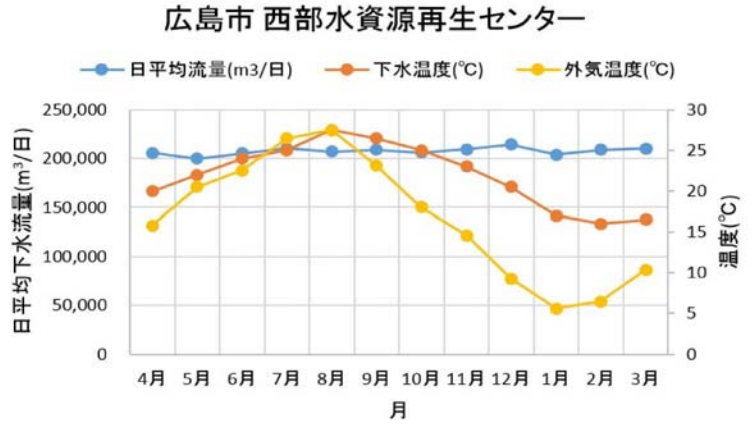
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～	10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)
10,001 ～	100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)
100,001 ～	1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～	[MJ/日]	(29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

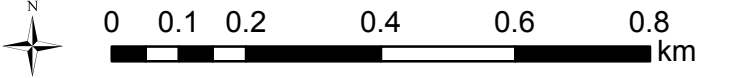
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

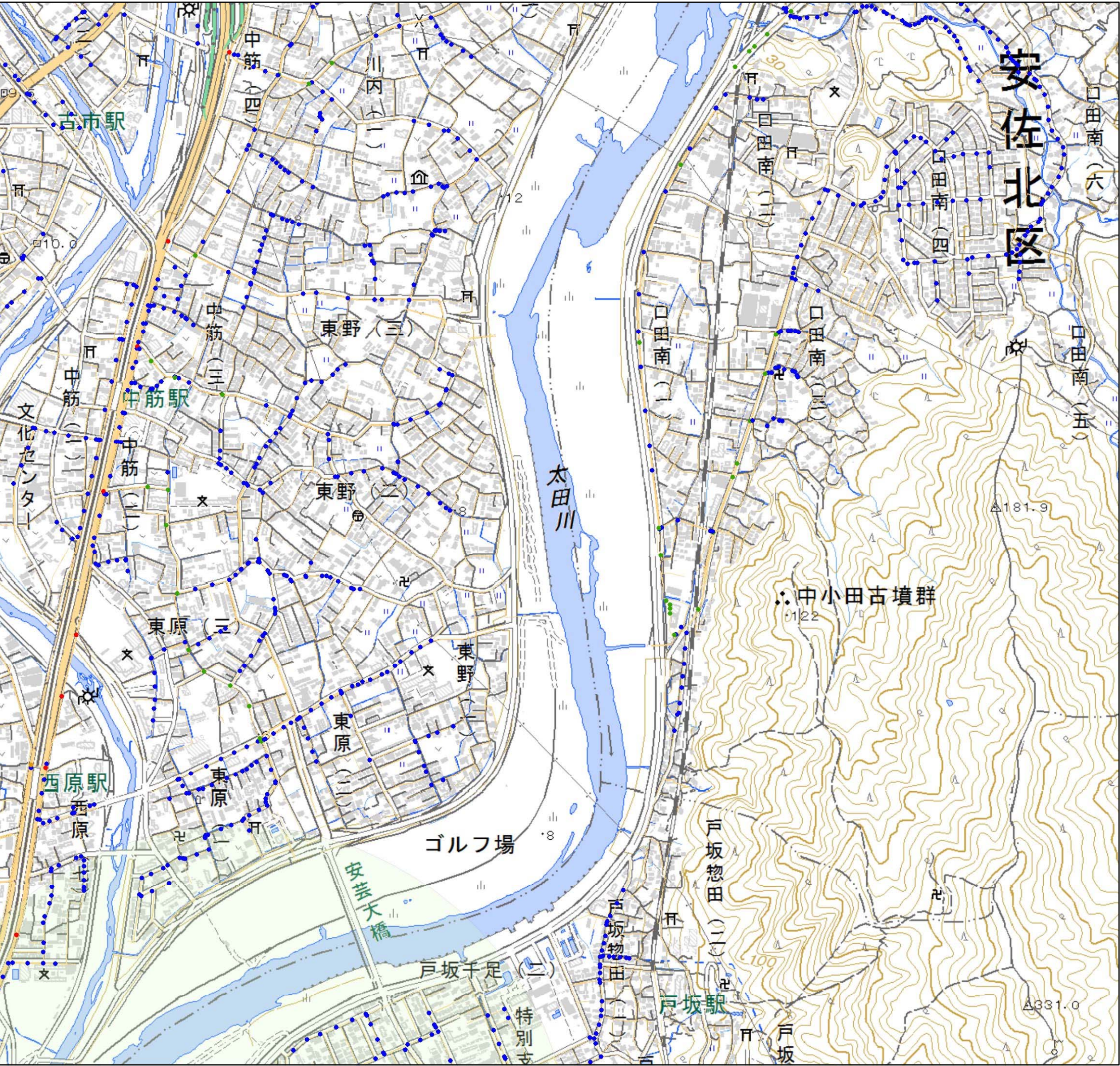
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

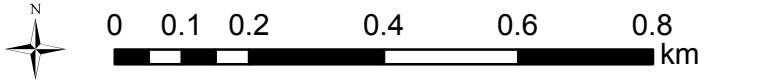
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/㎡年]
住宅1世帯の延べ床面積を100㎡と想定。

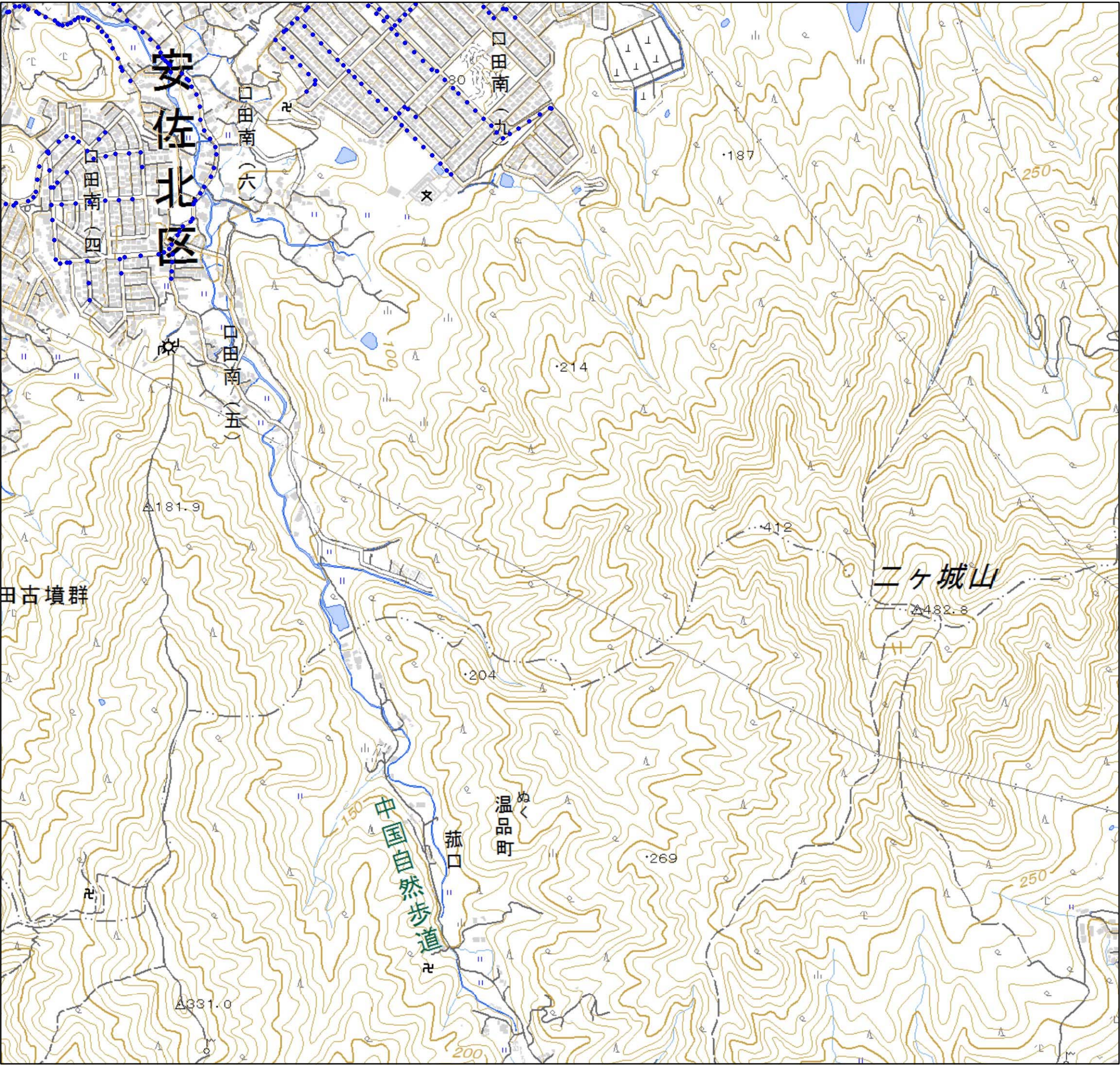
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





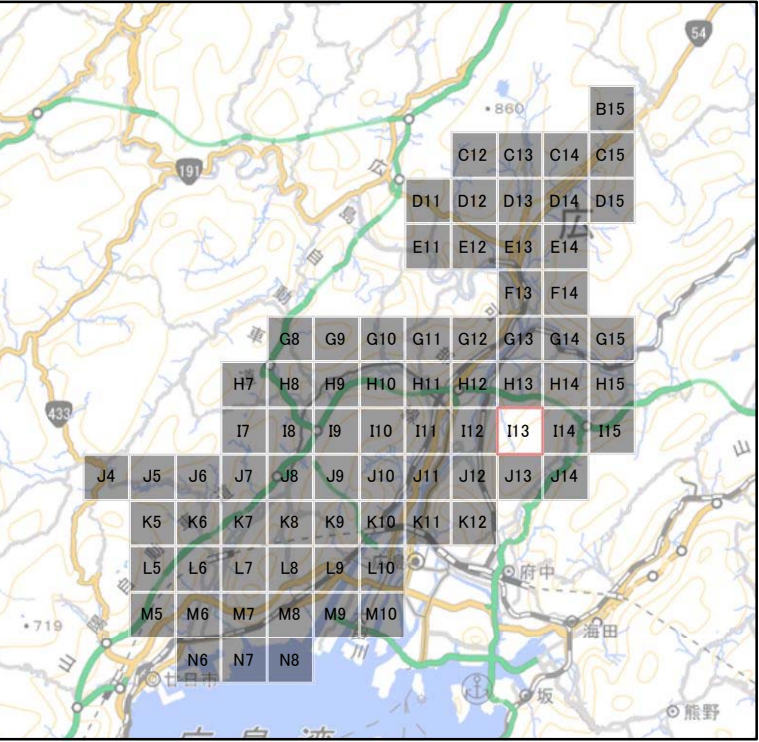
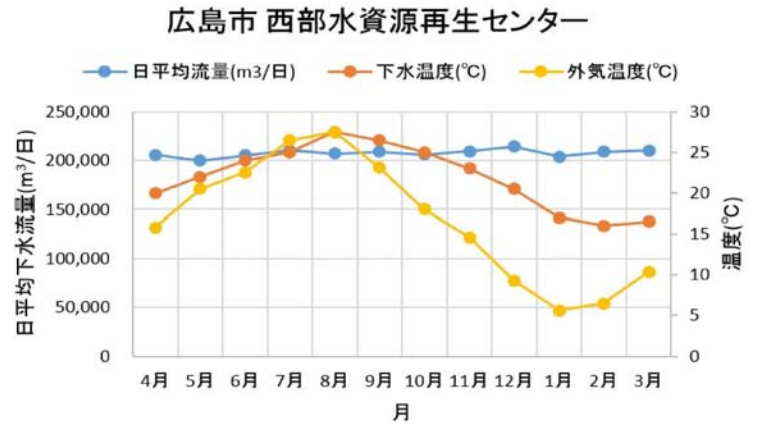
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～	10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)
10,001 ～	100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)
100,001 ～	1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～	[MJ/日]	(29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

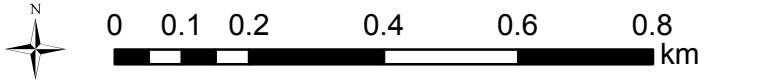
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

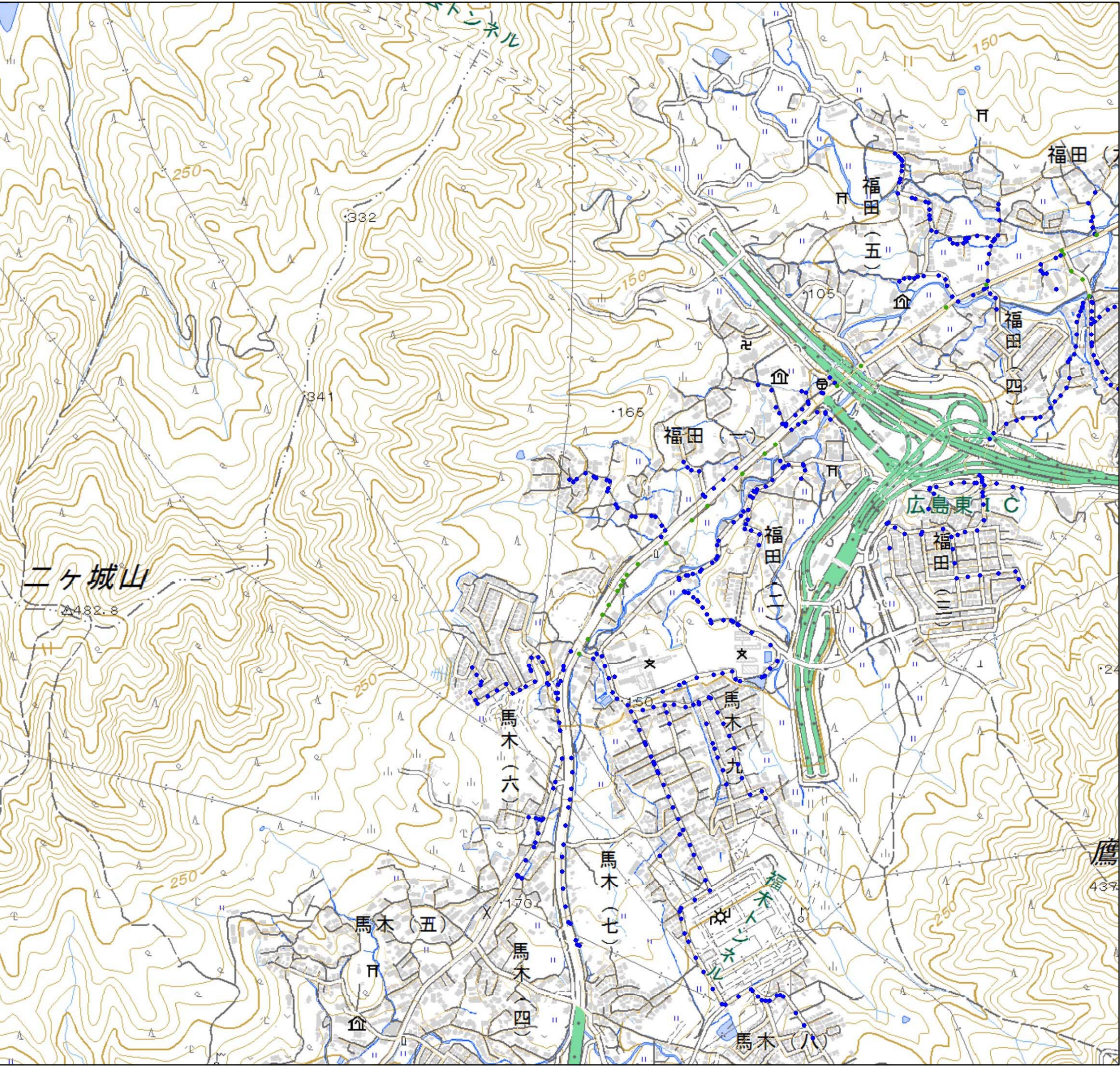
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





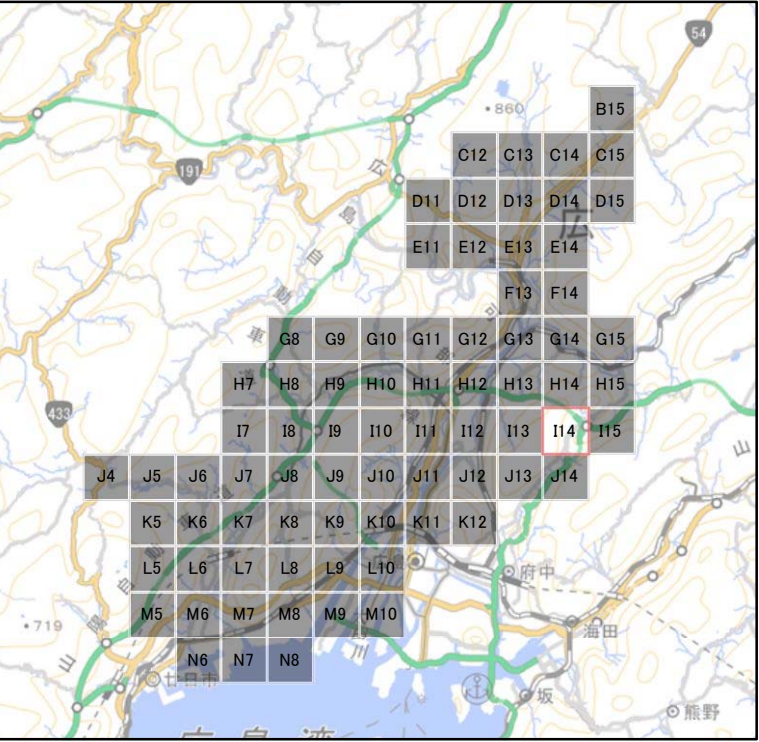
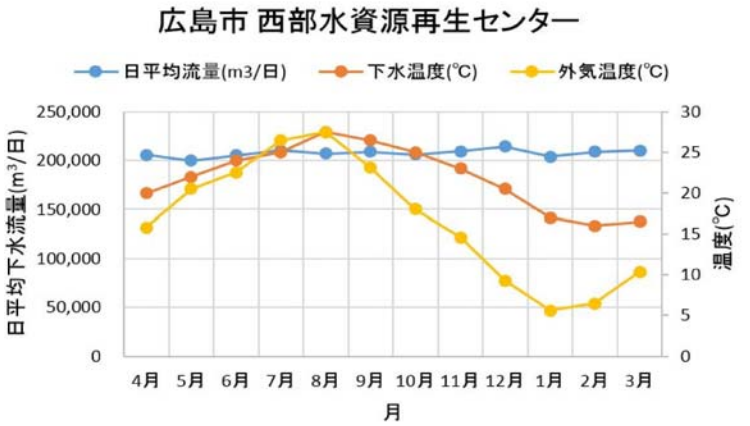
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

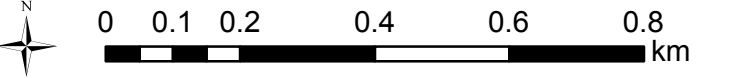
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

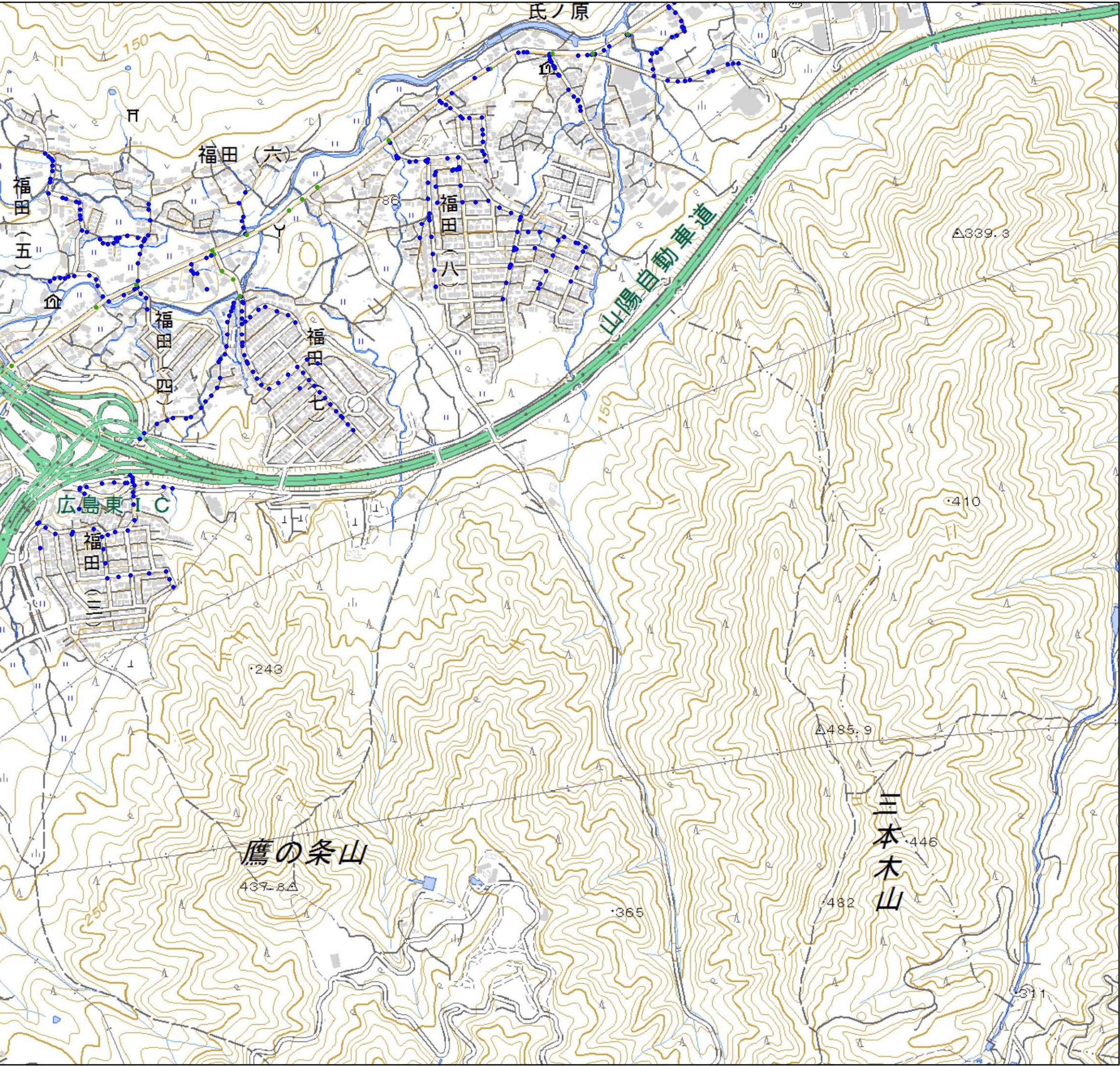
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





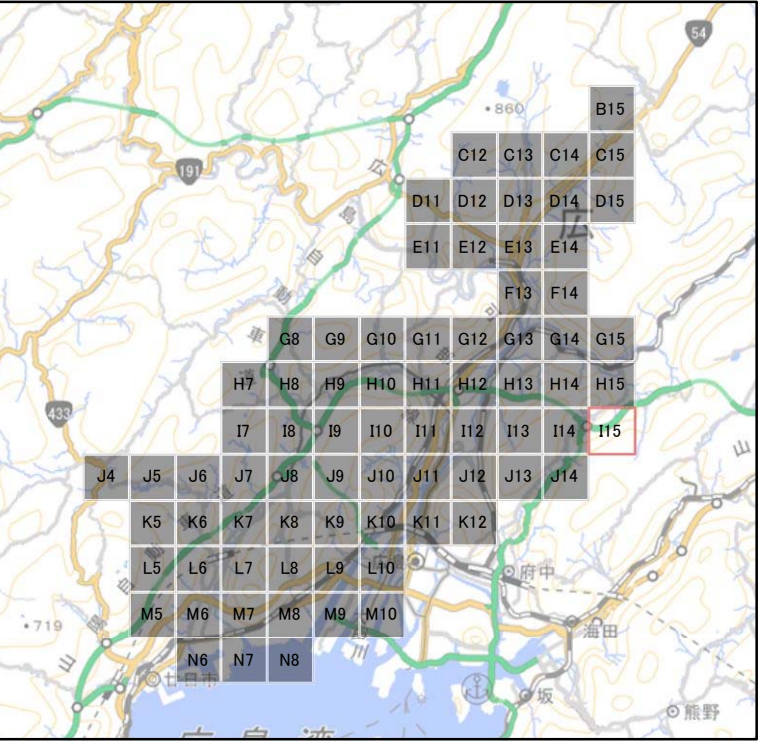
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

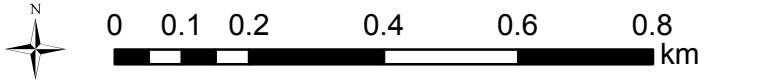
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

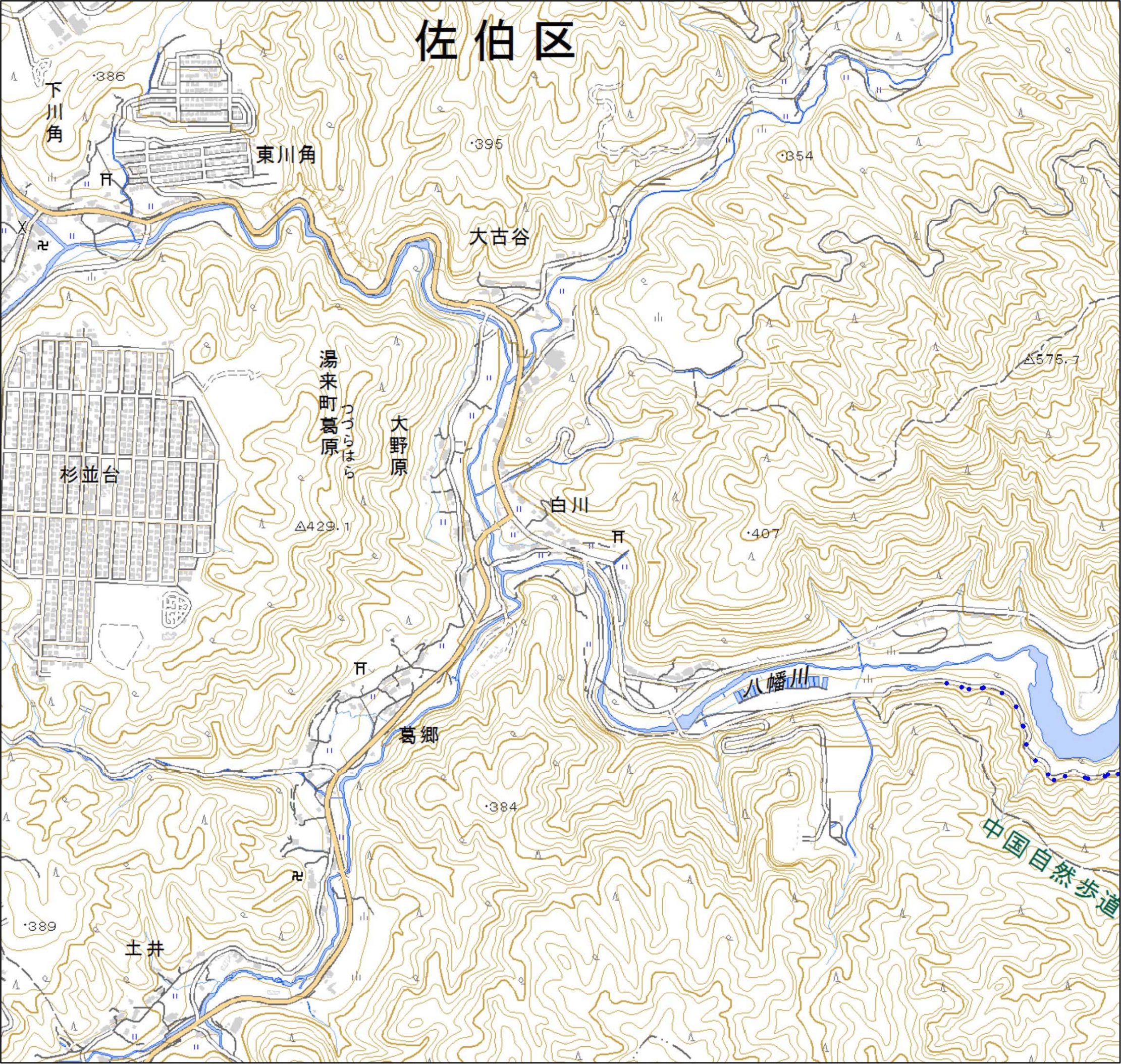
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。

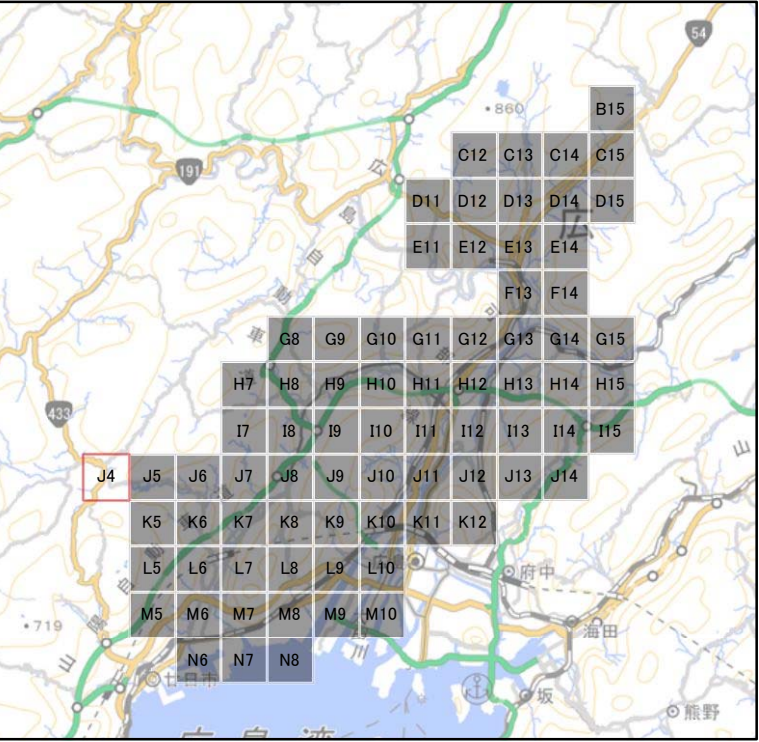




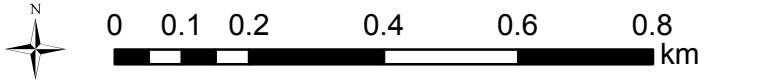
下水熱ポテンシャル			住宅給湯負荷相当の世帯数目安	
	下水熱ポテンシャル		14	290
	500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	290	2,906)
	10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	2,906	29,065)
	100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	29,065	
	1,000,001 ～ [MJ/日]	(		
※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。				
※集合住宅の給湯熱負荷原単位 (空衛学会) 126[MJ/m ² 年]				
住宅1世帯の延べ床面積を100m ² と想定。				

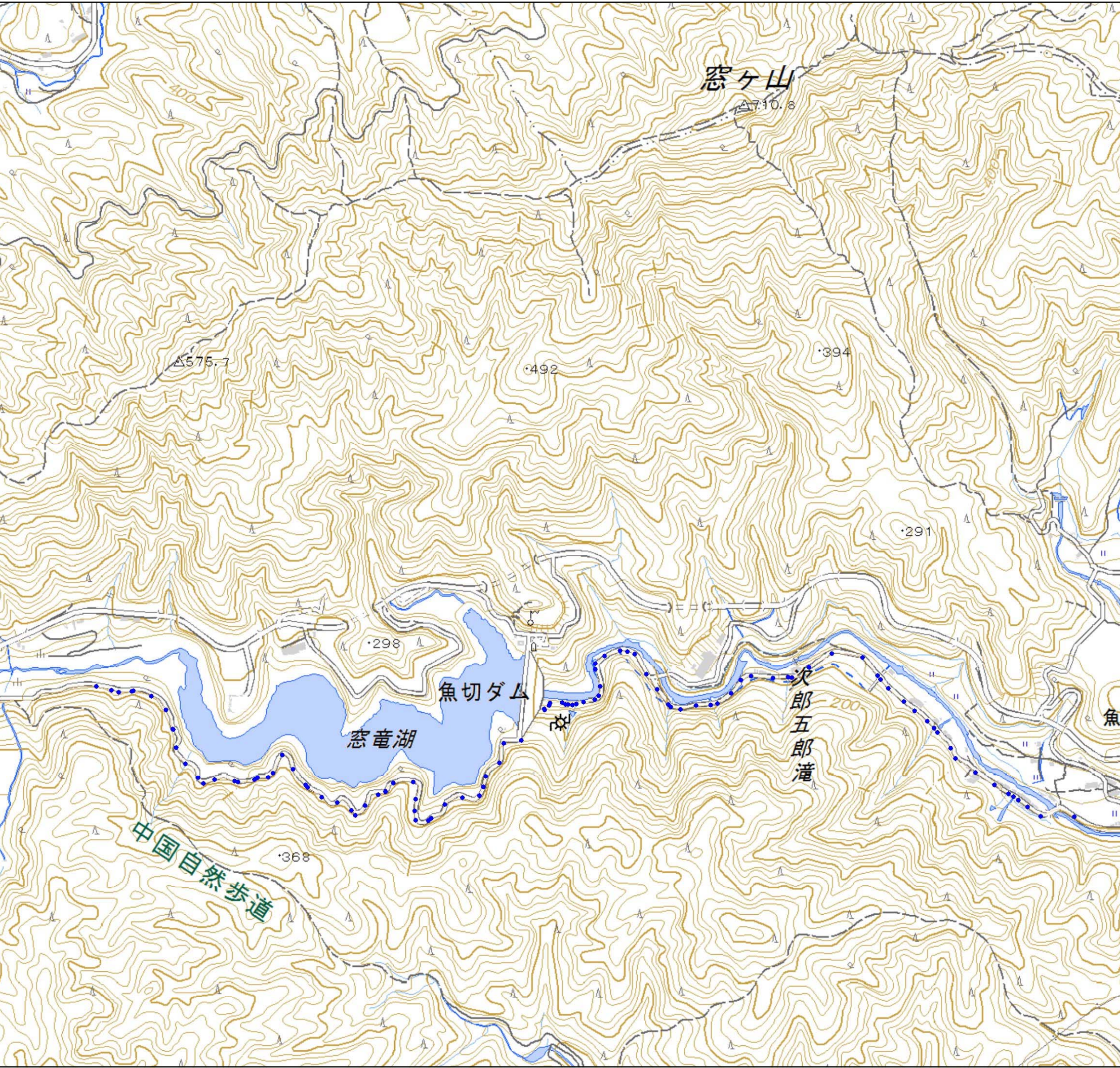
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





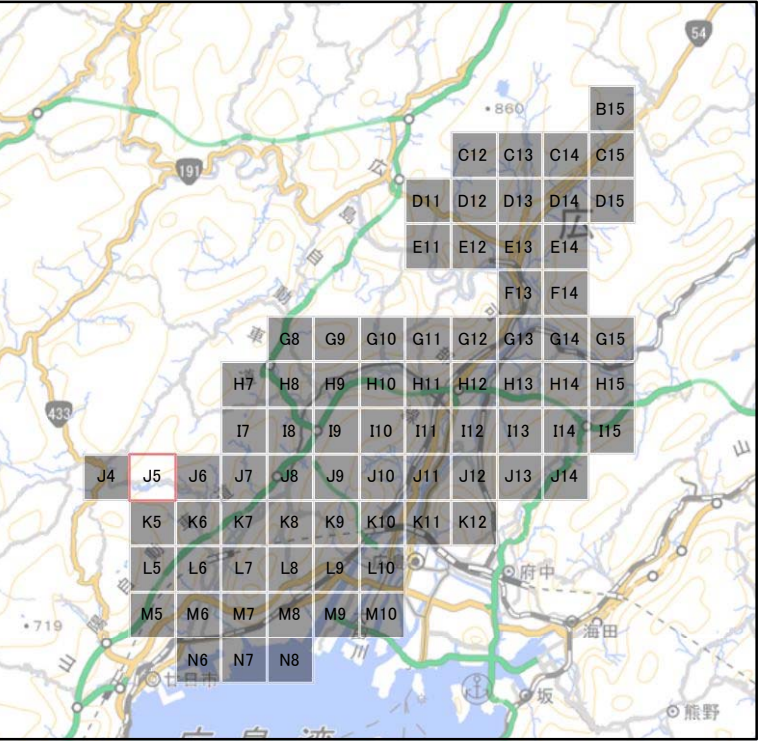
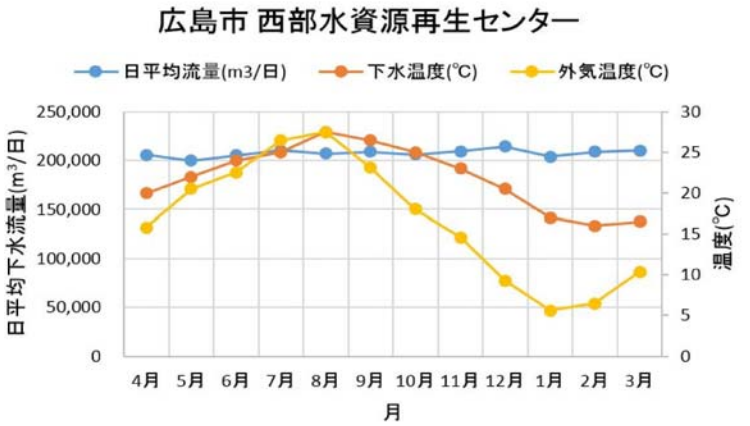
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

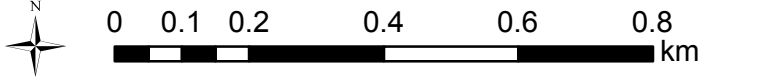
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

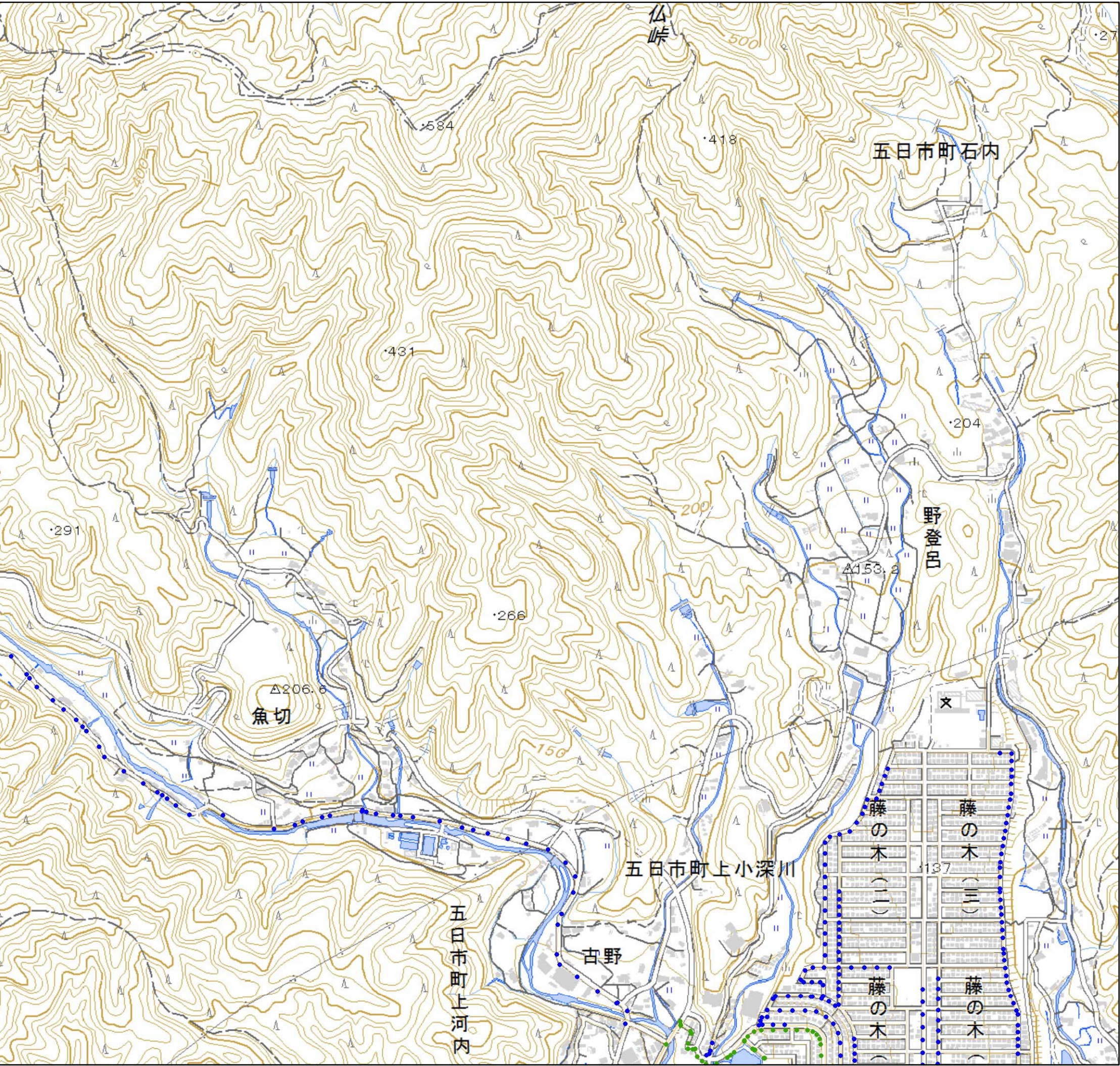
※夏季のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





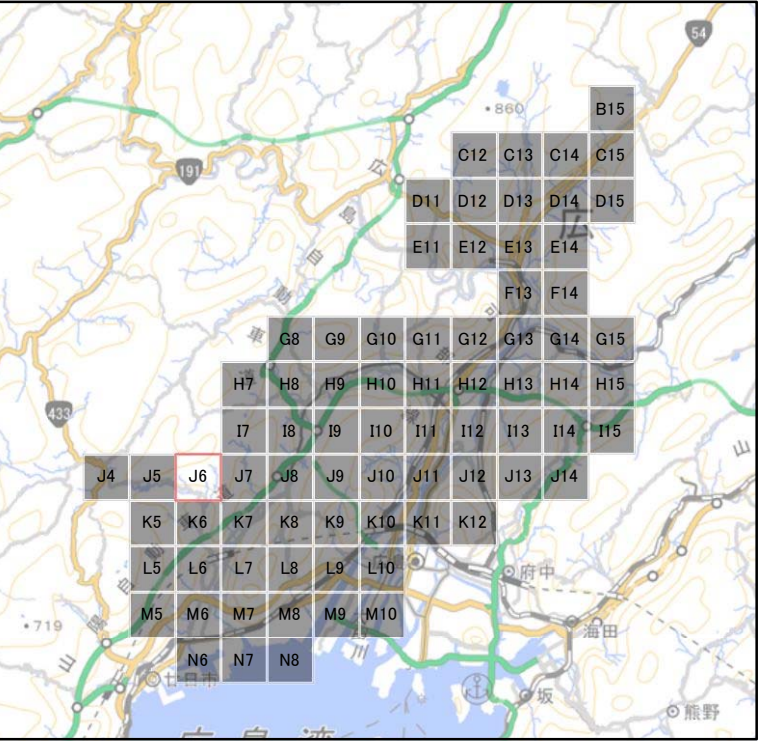
下水熱ポテンシャル			
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安	
500 ～	10,000 [MJ/日]	(14 ～	290)
10,001 ～	100,000 [MJ/日]	(290 ～	2,906)
100,001 ～	1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～	29,065)
1,000,001 ～	[MJ/日]	(29,065 ～	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

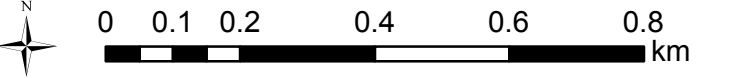
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

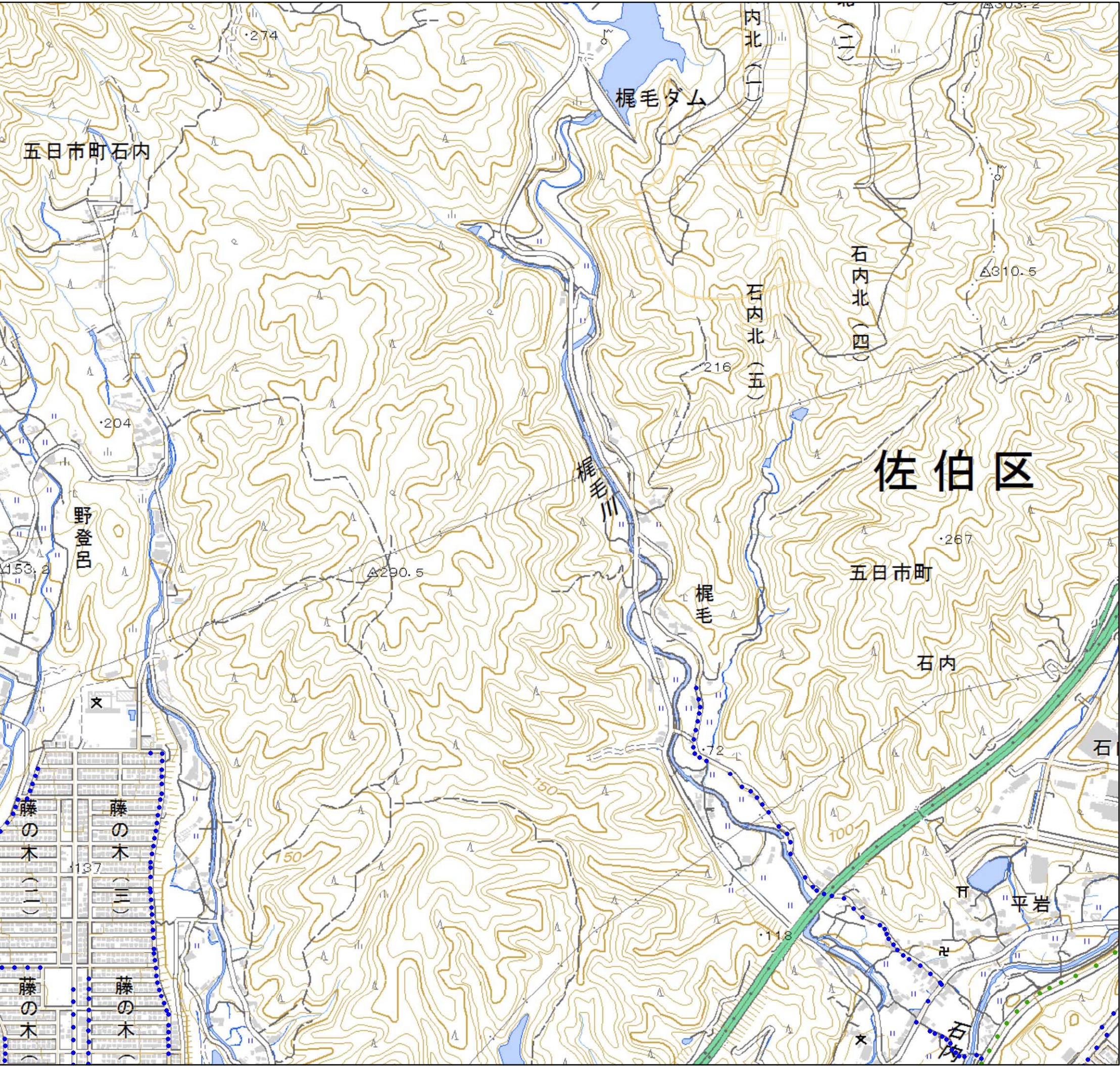
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





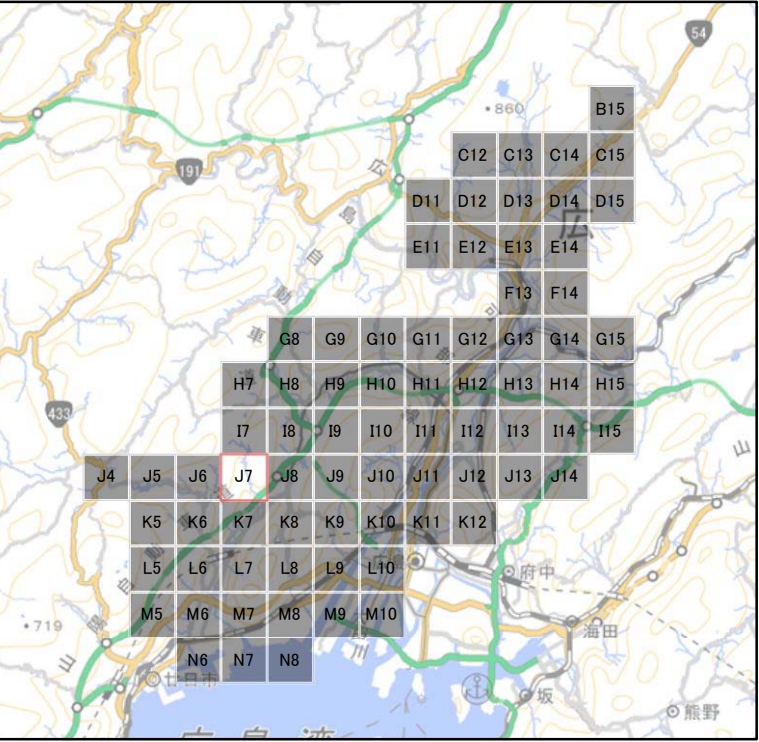
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル	住宅給湯負荷相当の世帯数目安	
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

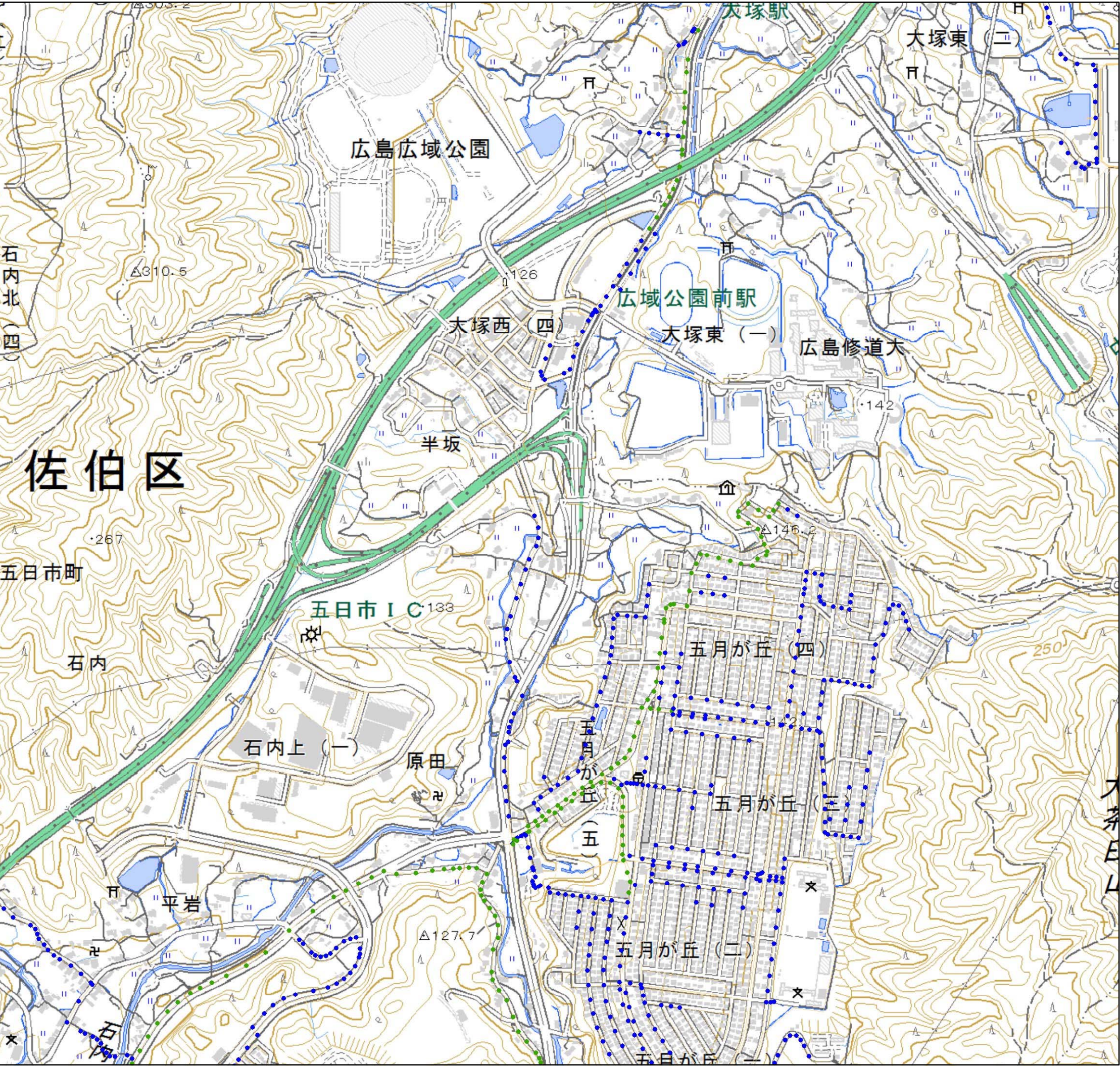
※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度





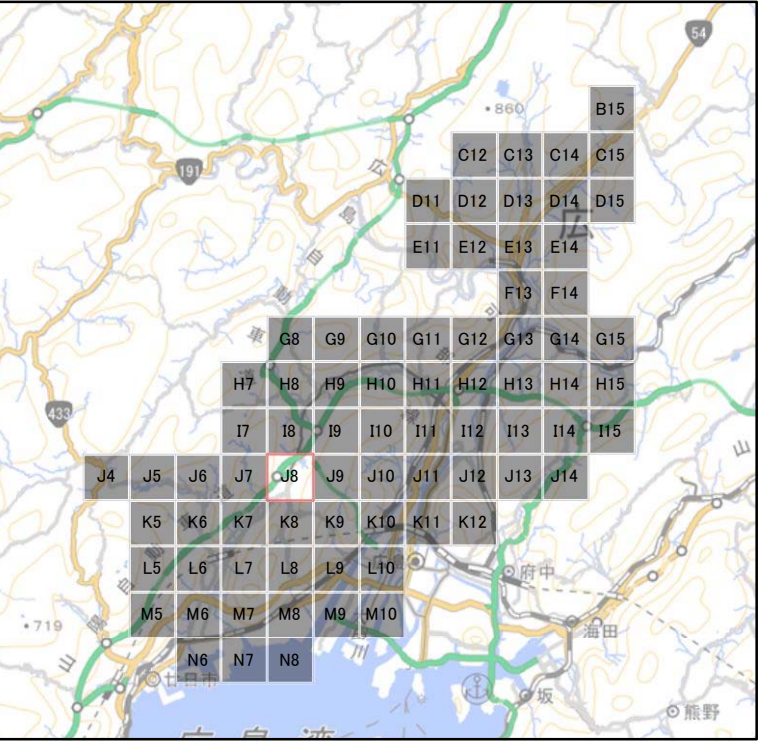
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～	10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)
10,001 ～	100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)
100,001 ～	1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～	[MJ/日]	(29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

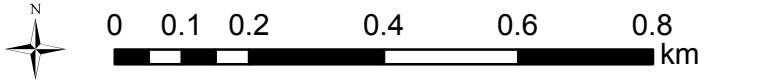
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

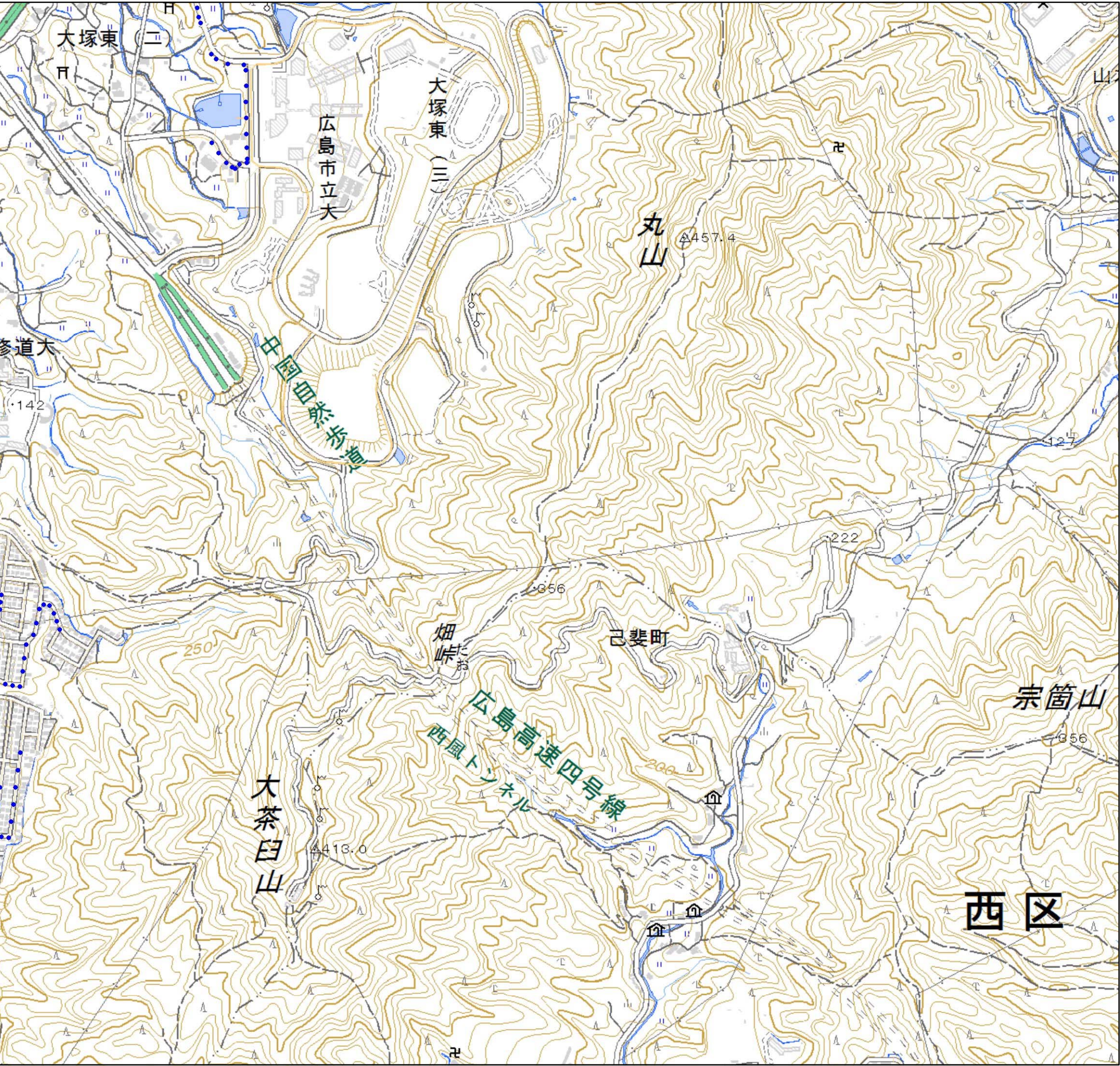
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





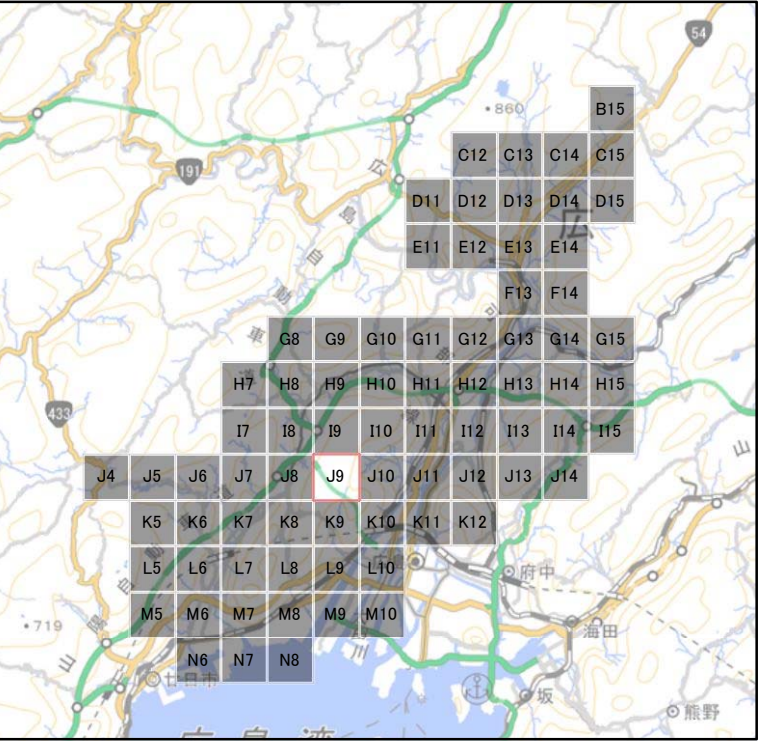
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

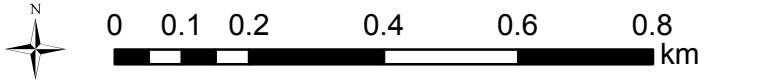
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

※夏季のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





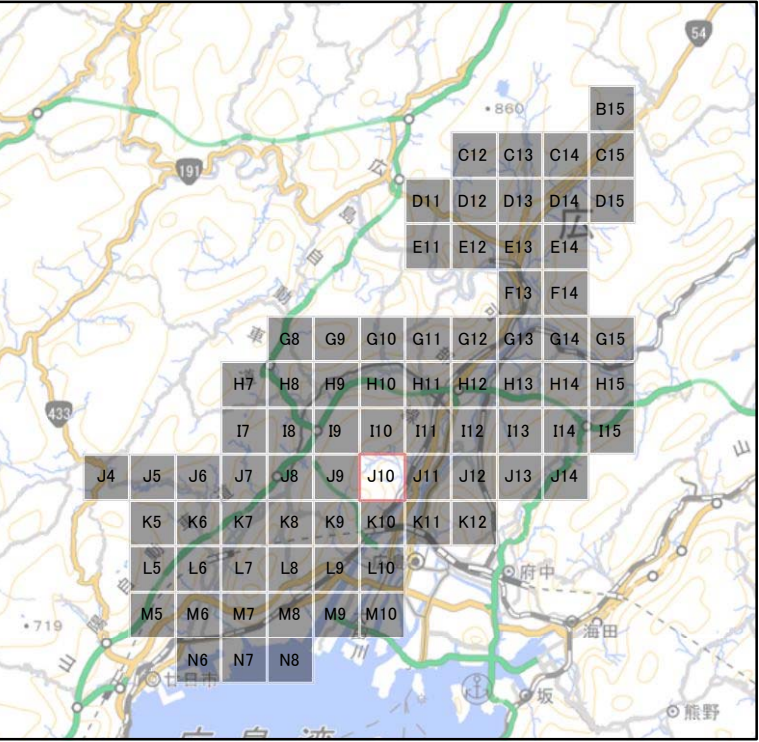
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

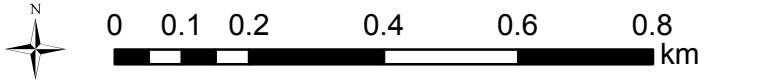
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

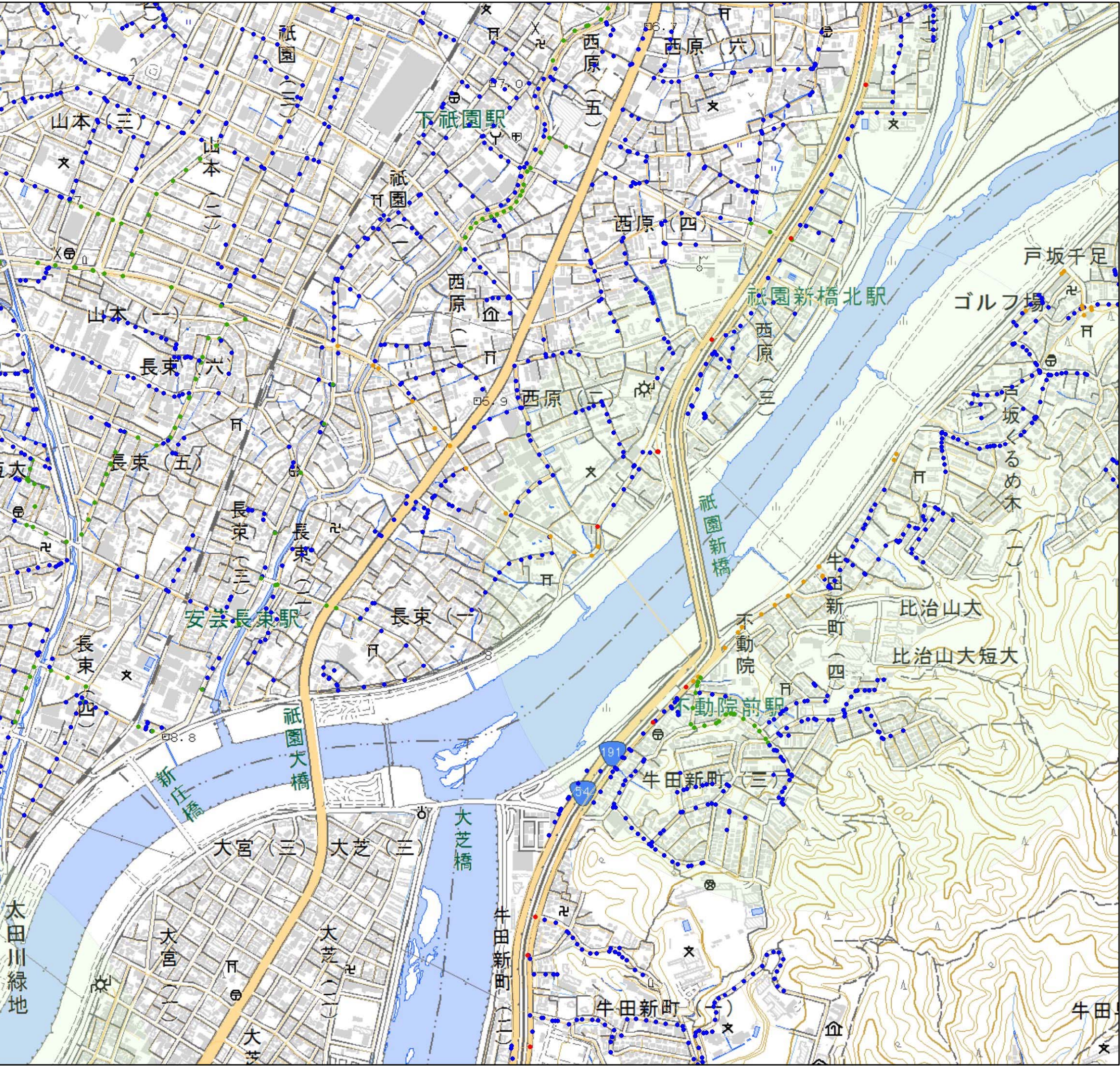
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





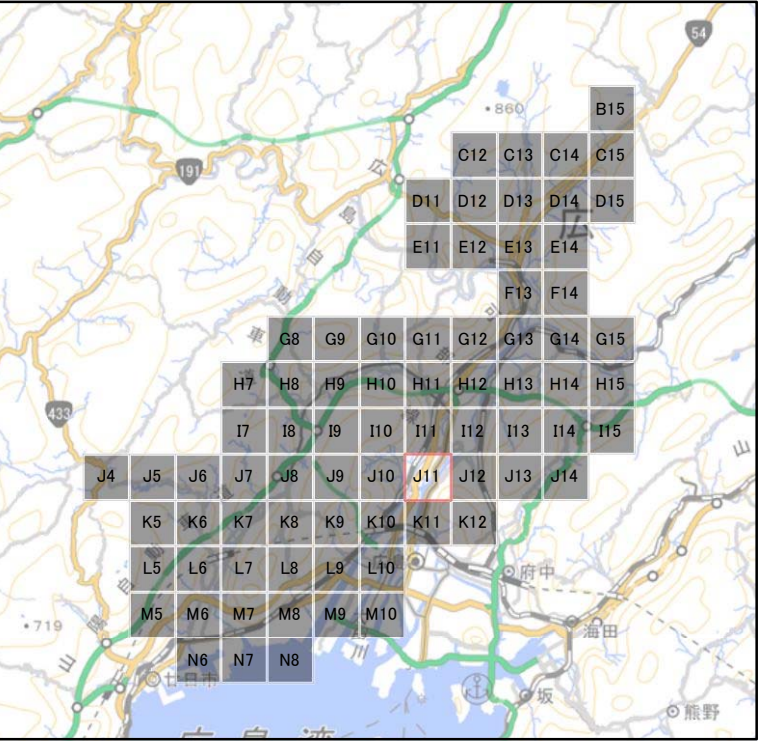
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

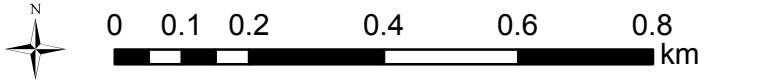
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/㎡年]
住宅1世帯の延べ床面積を100㎡と想定。

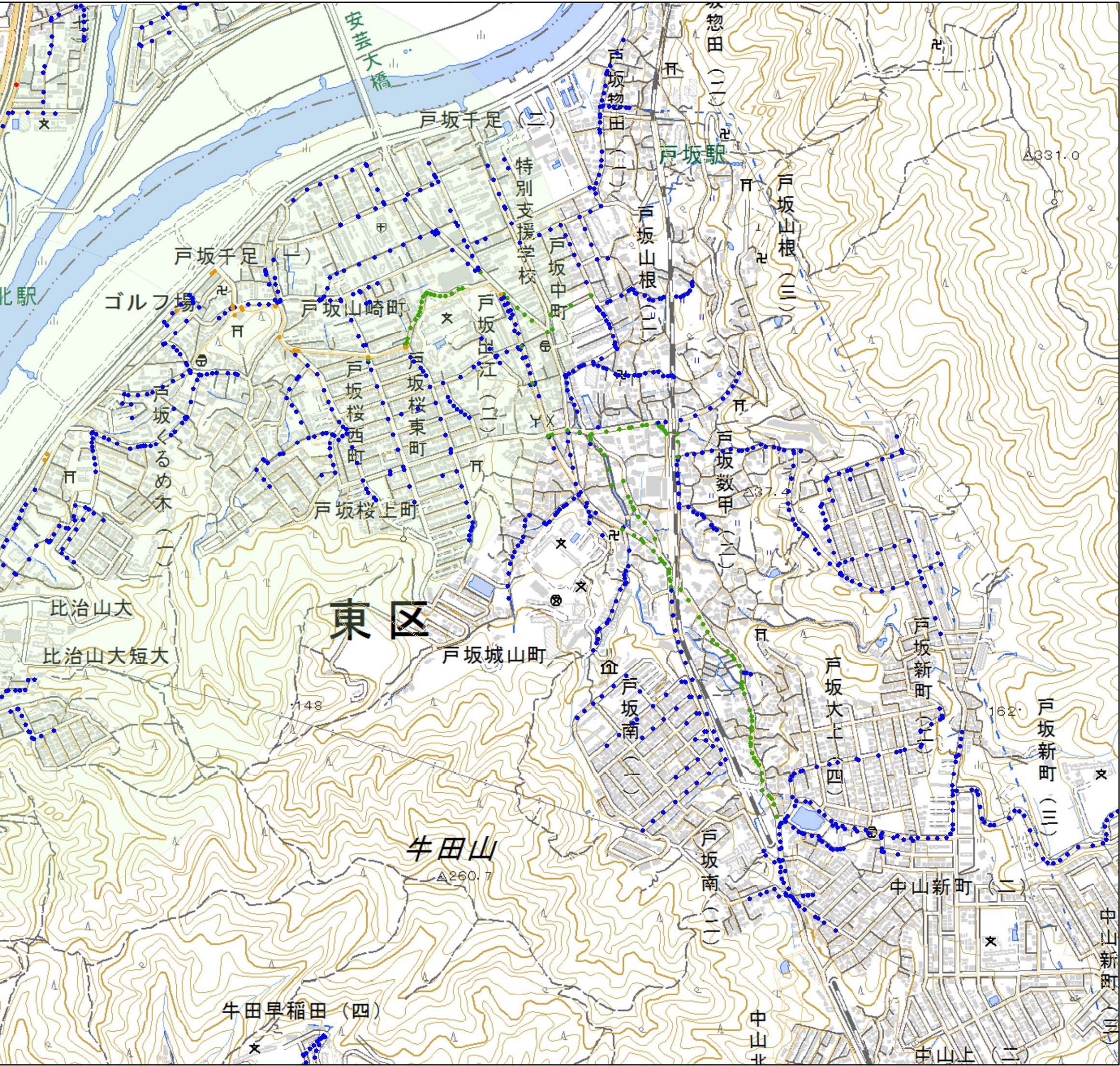
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





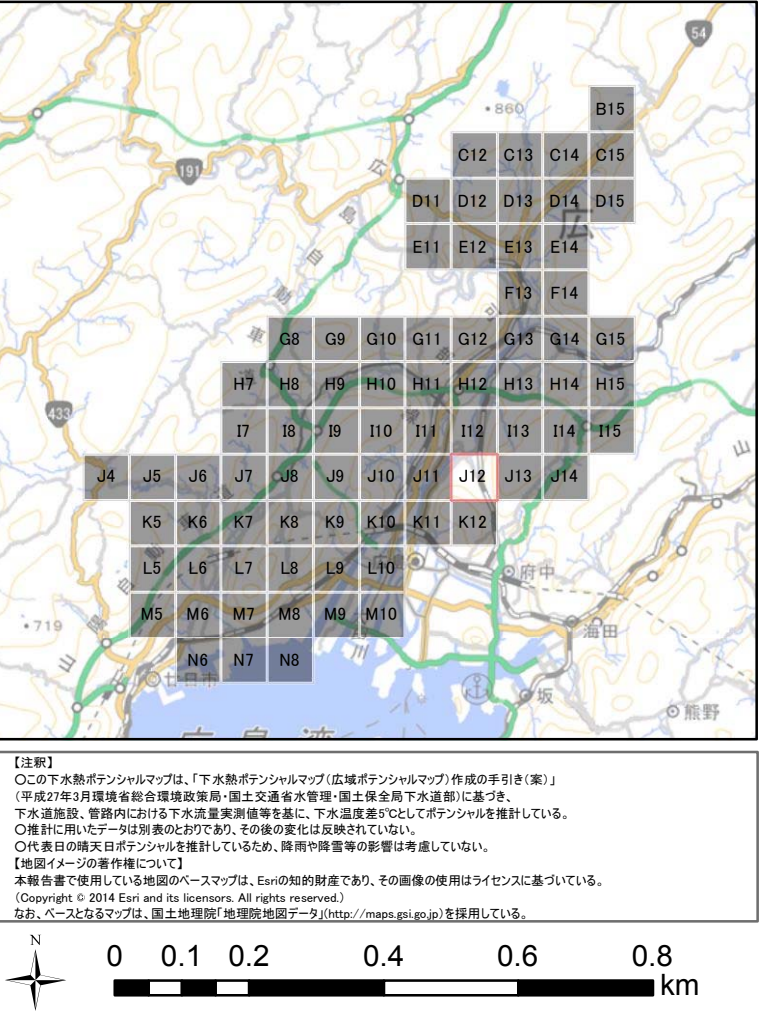
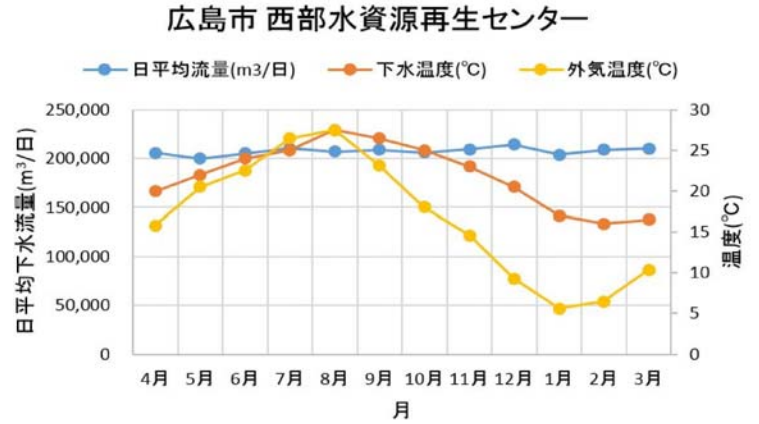
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

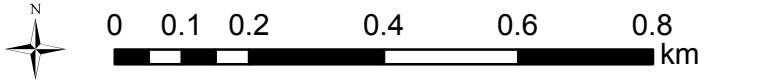
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

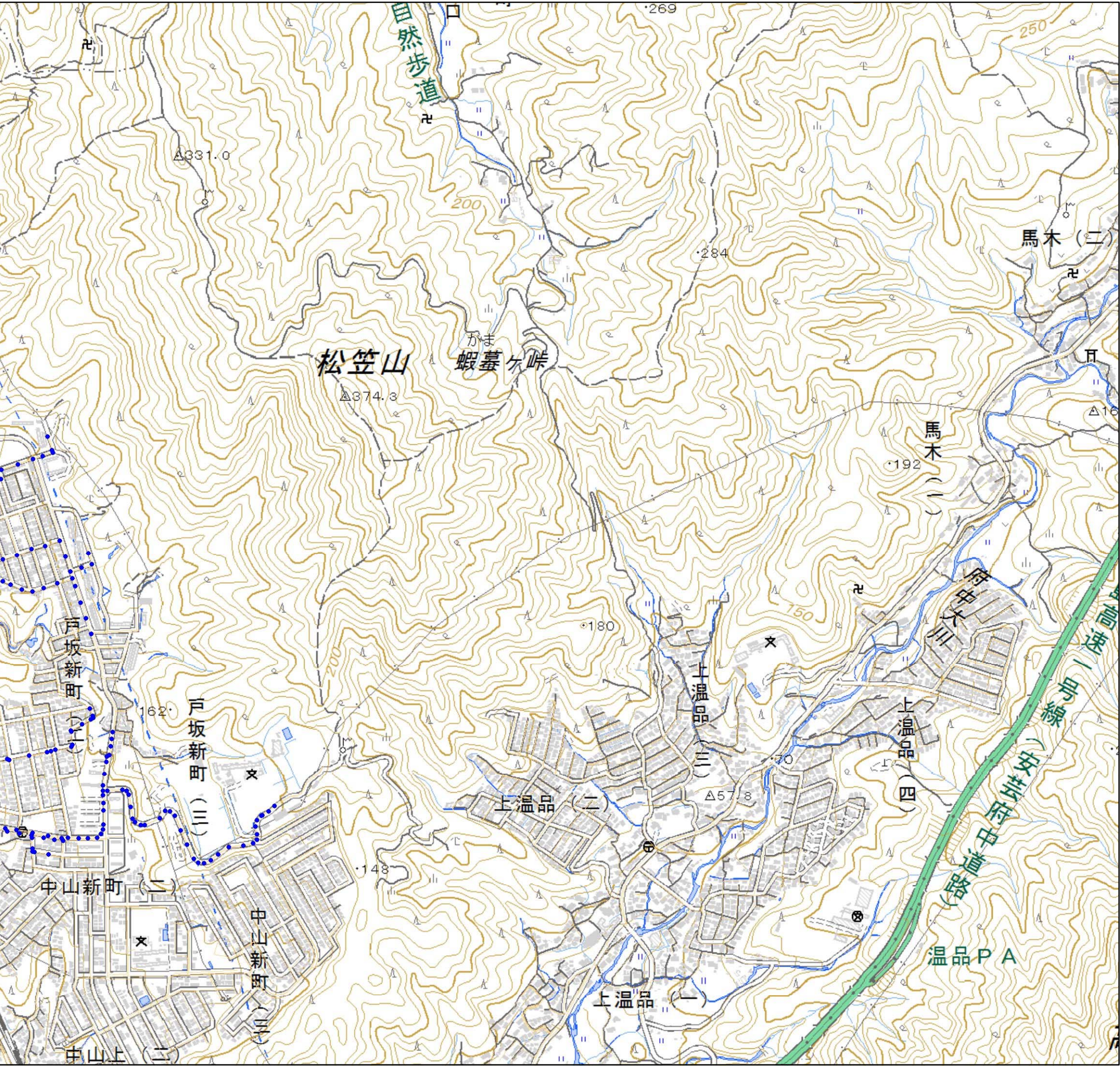
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





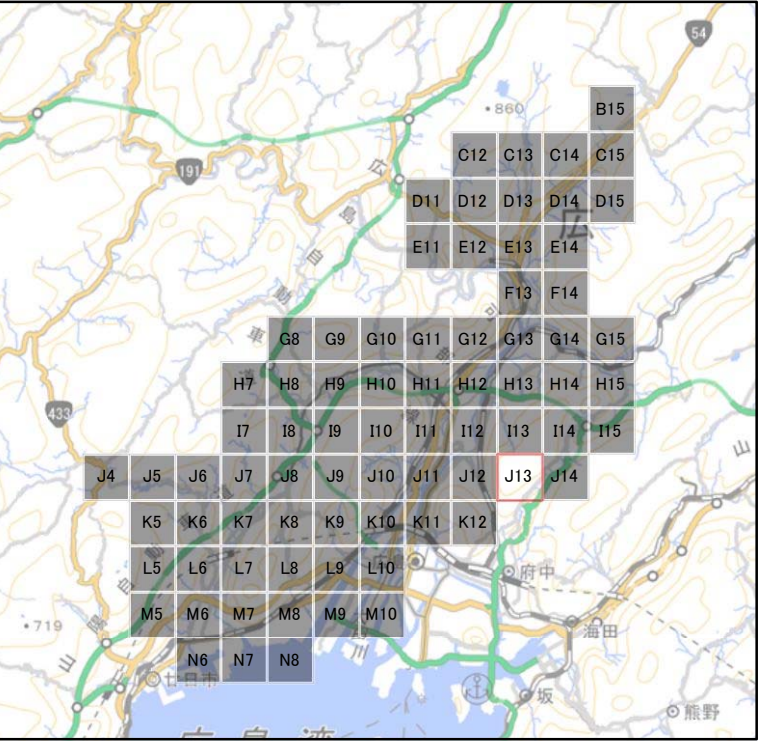
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

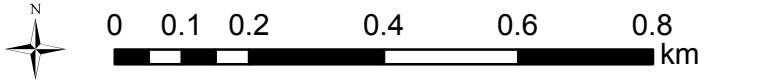
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

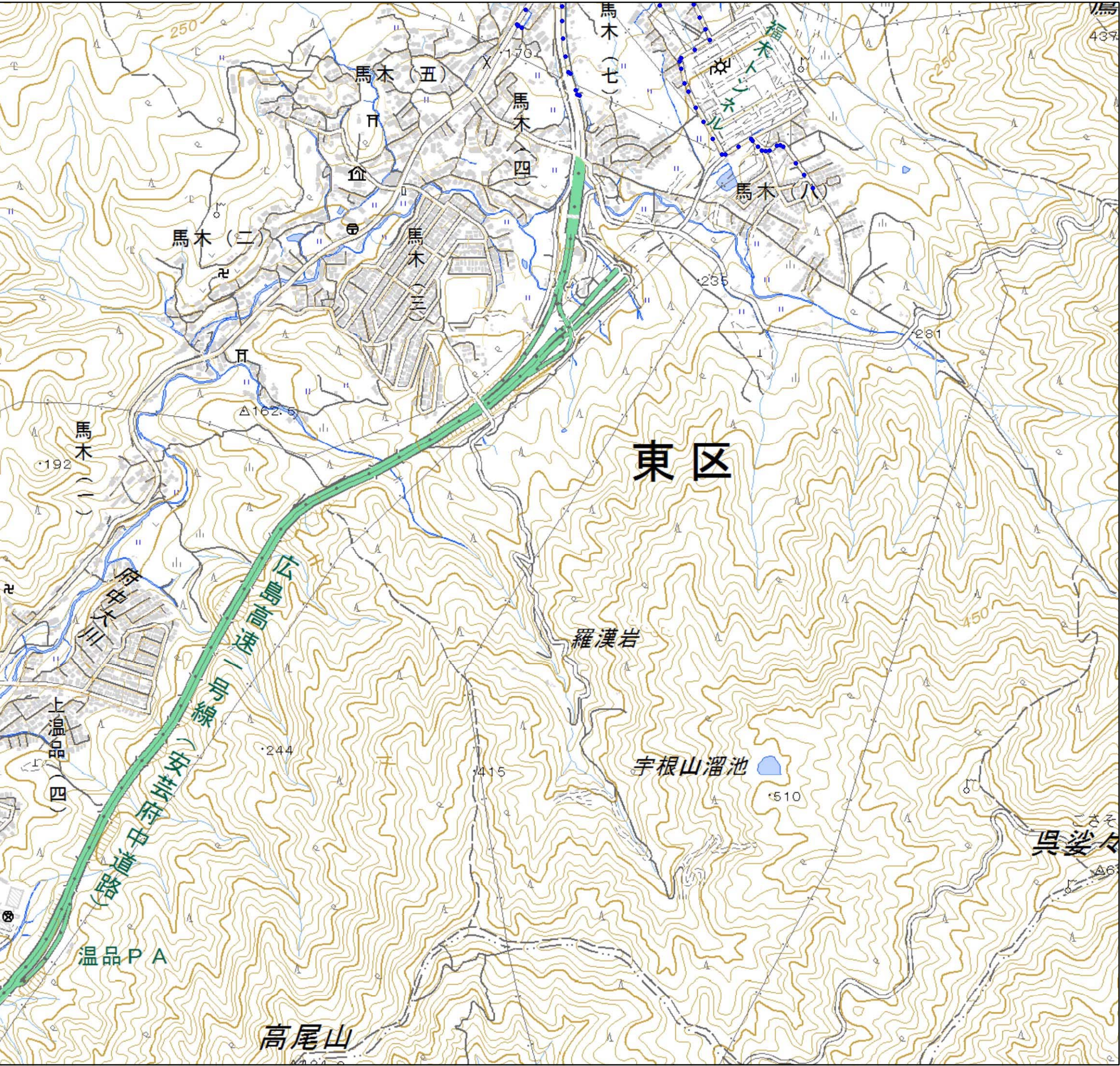
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





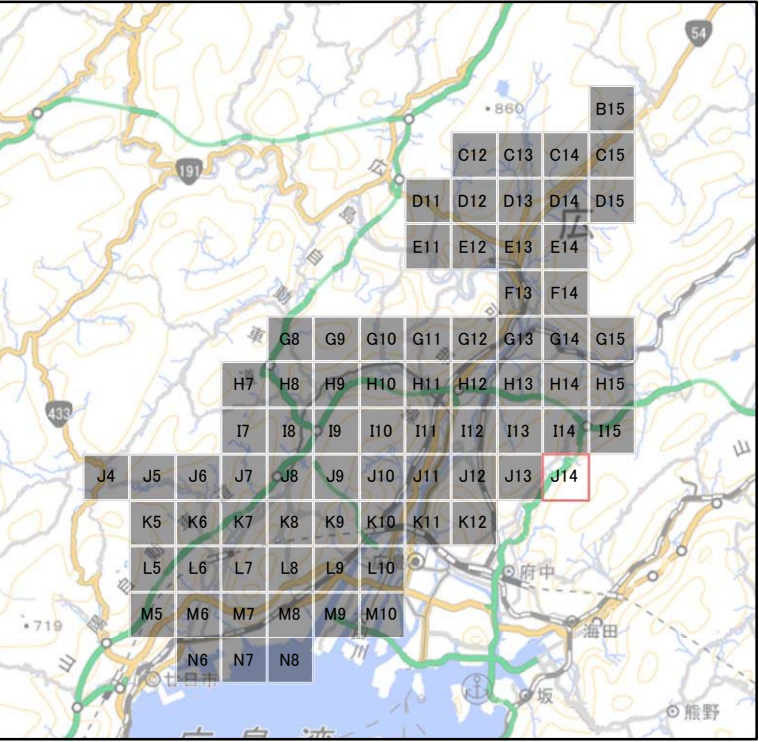
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

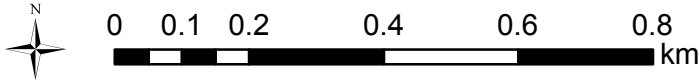
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

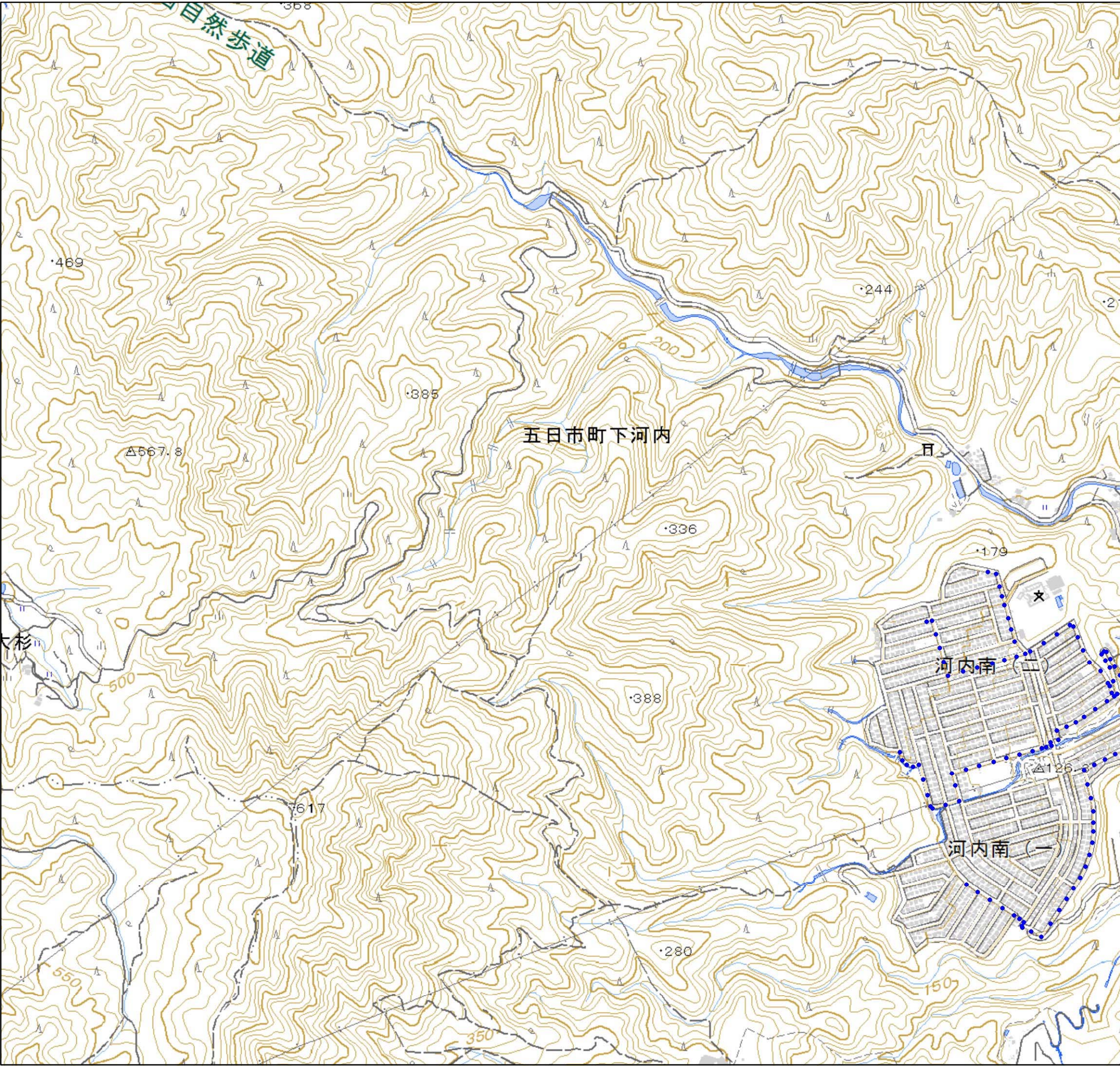
※夏季のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





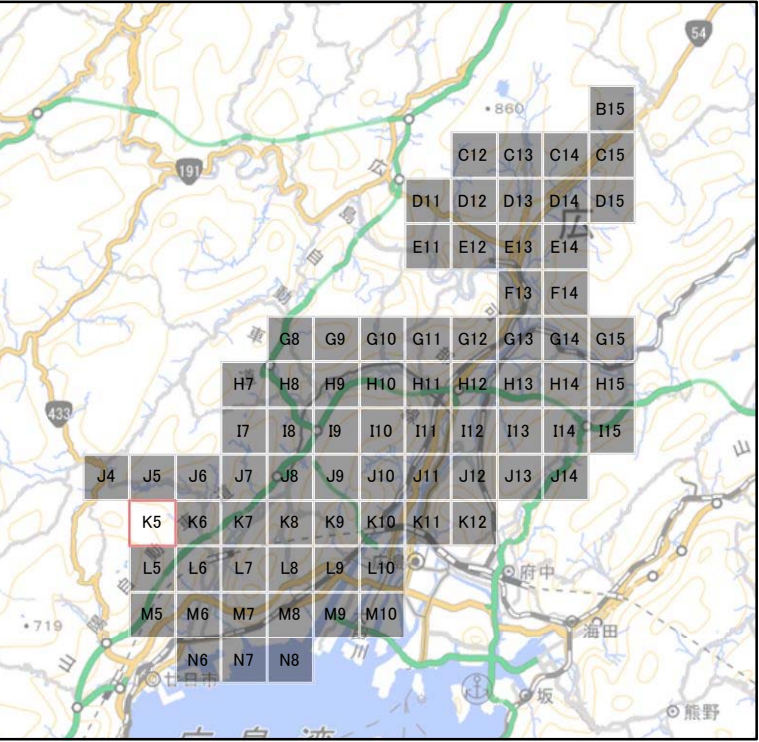
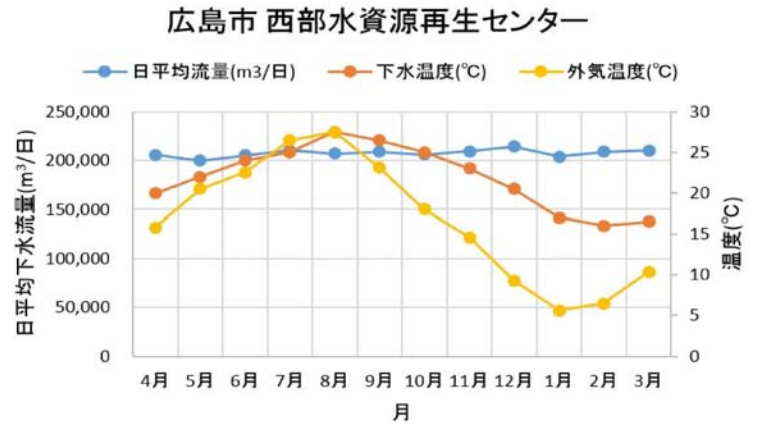
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

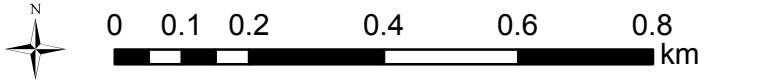
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

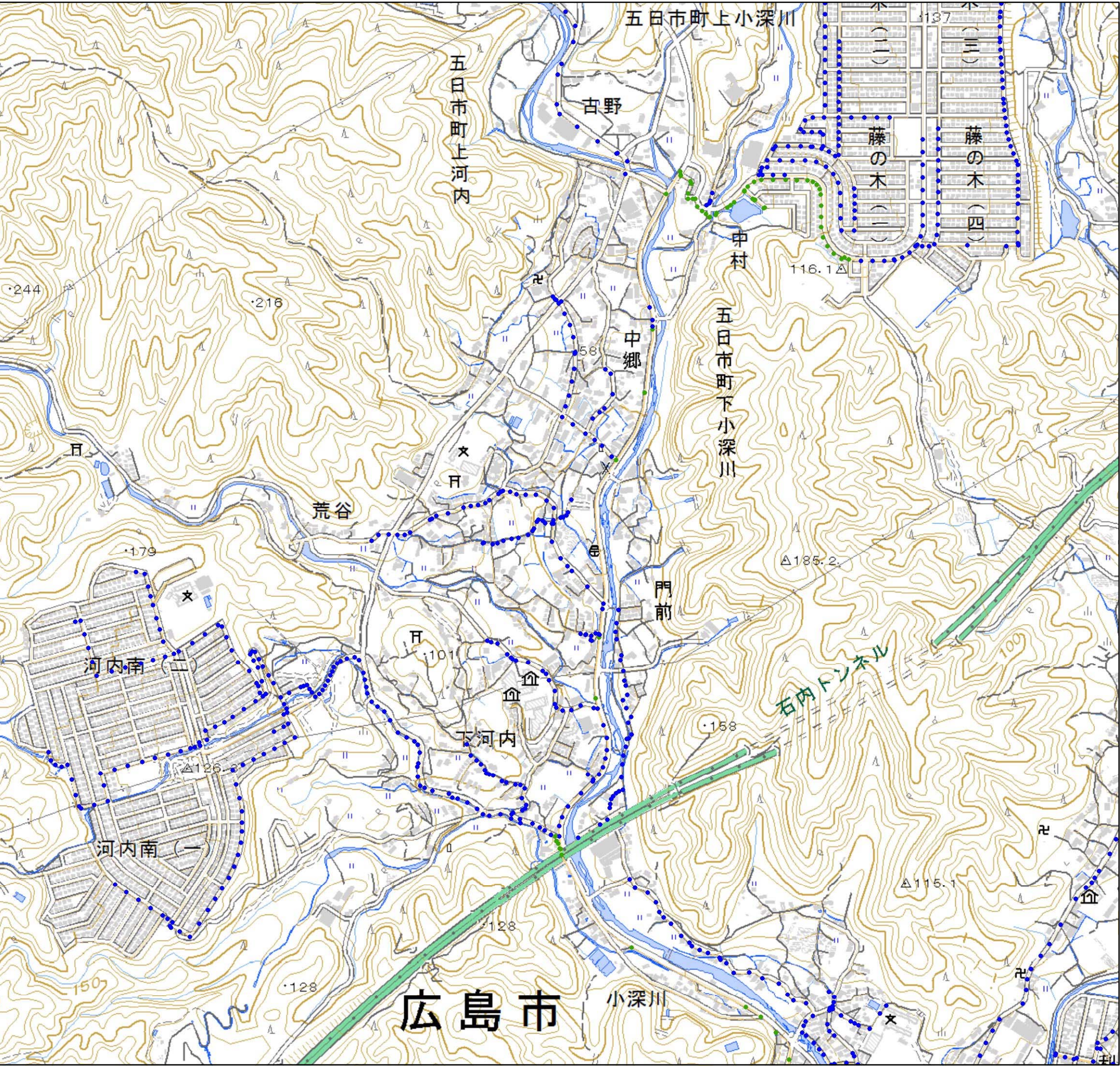
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





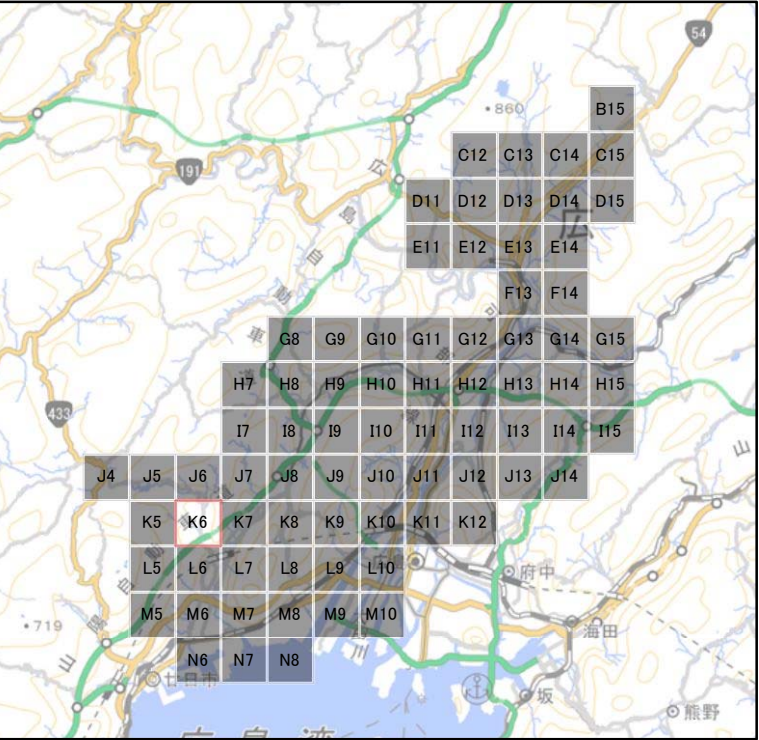
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

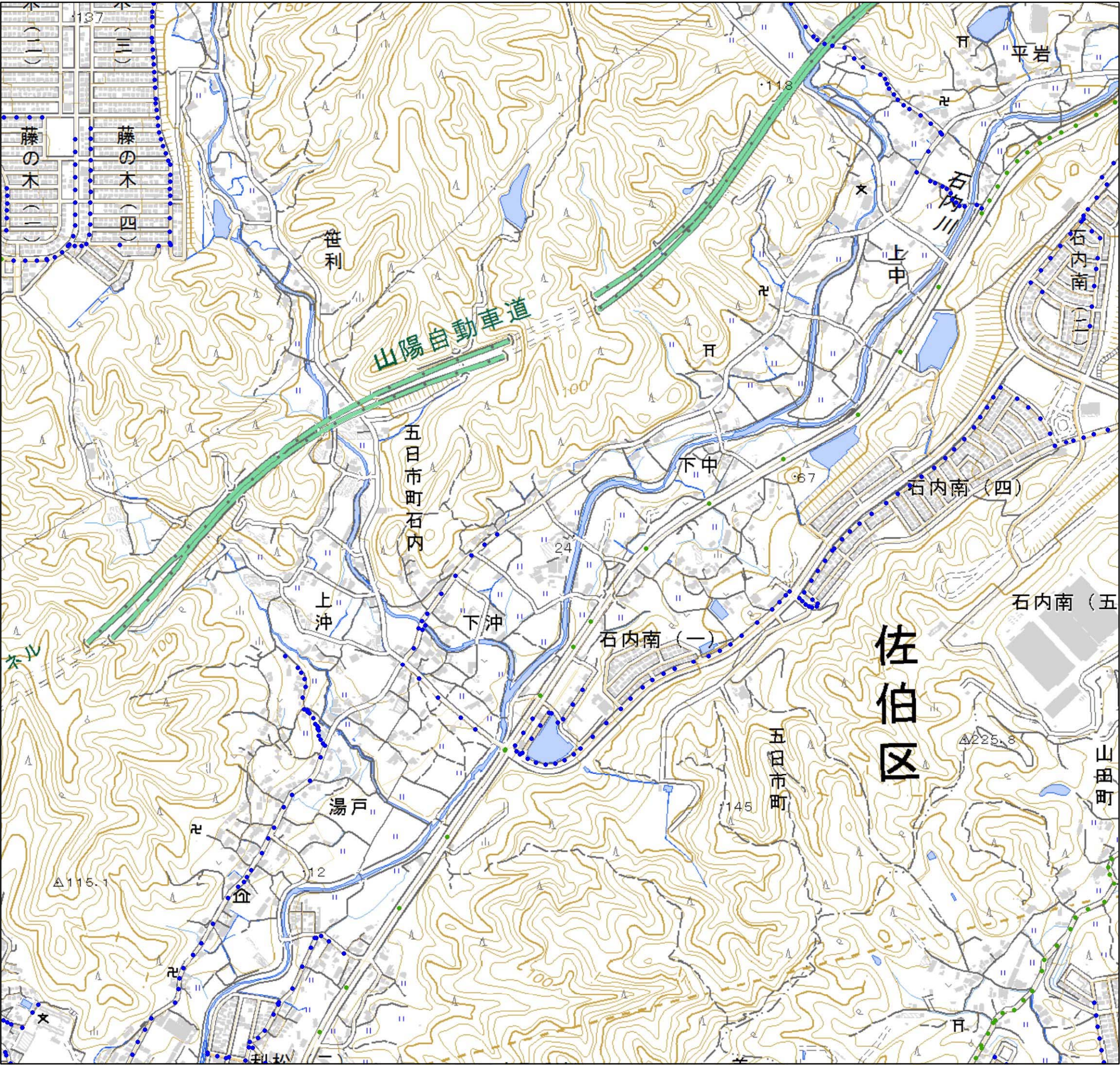
※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/㎡年]
住宅1世帯の延べ床面積を100㎡と想定。

※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度





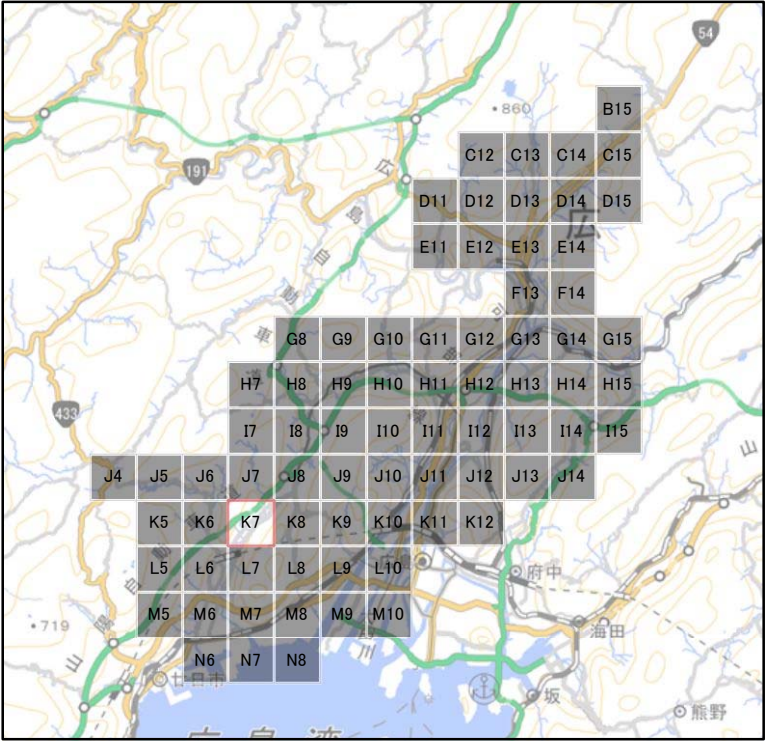
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

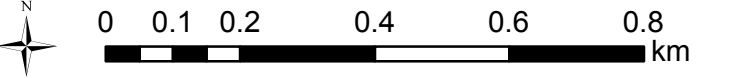
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

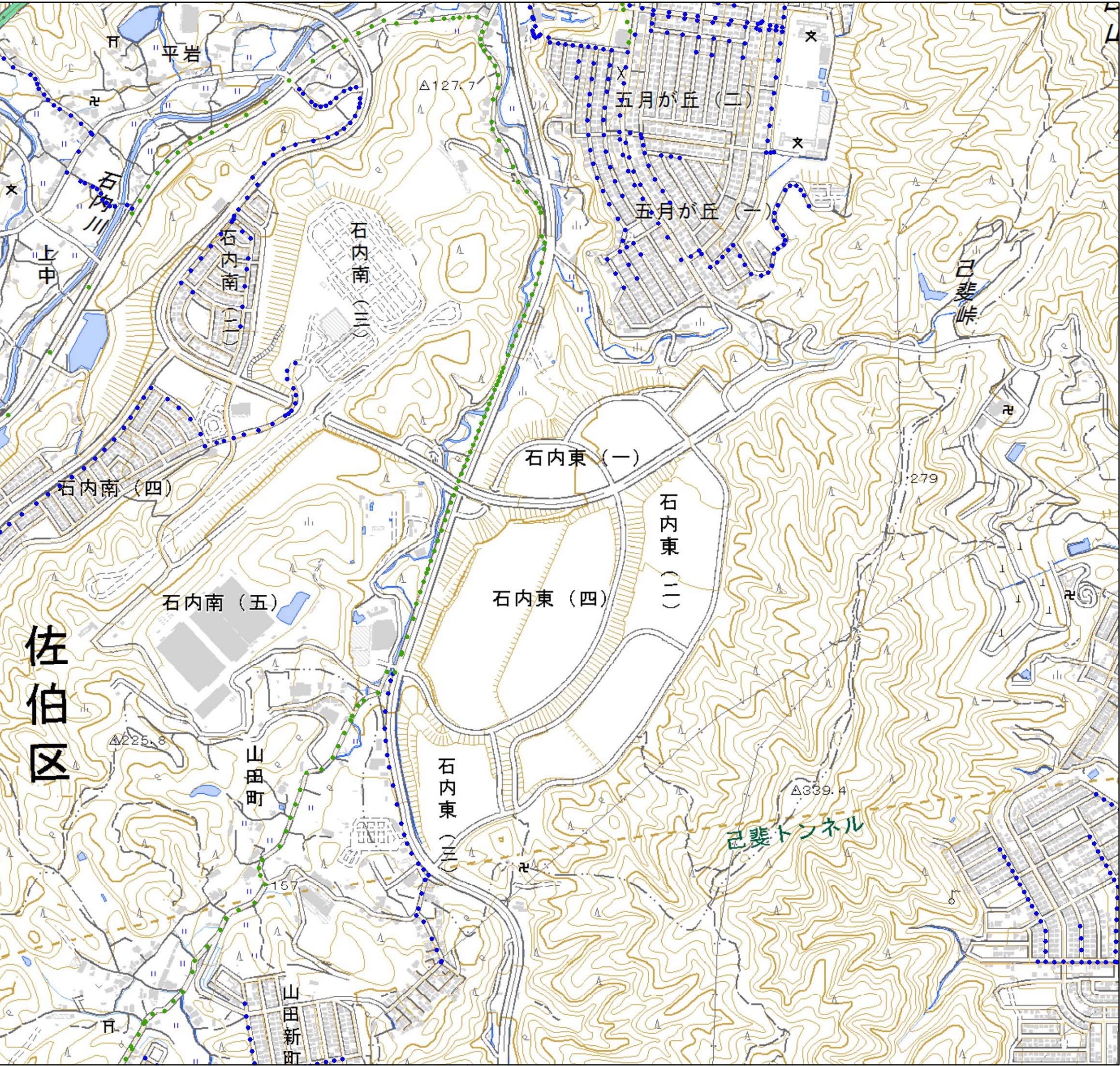
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～	10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)
10,001 ～	100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)
100,001 ～	1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～	[MJ/日]	(29,065 ～)

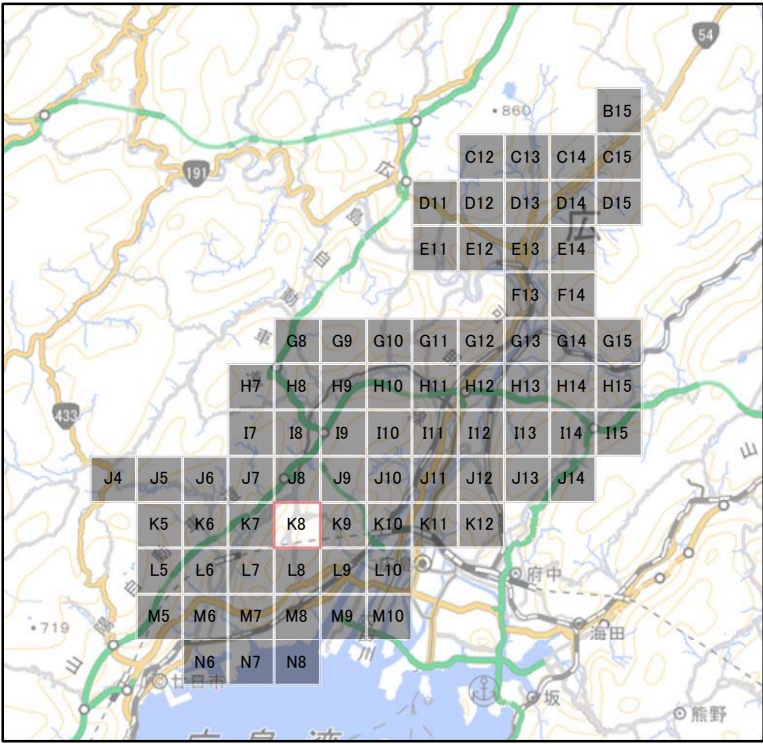
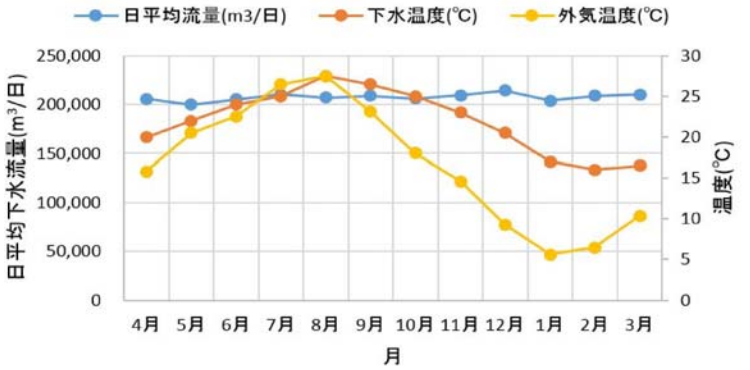
※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

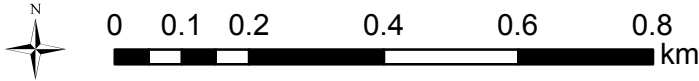
※夏季のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

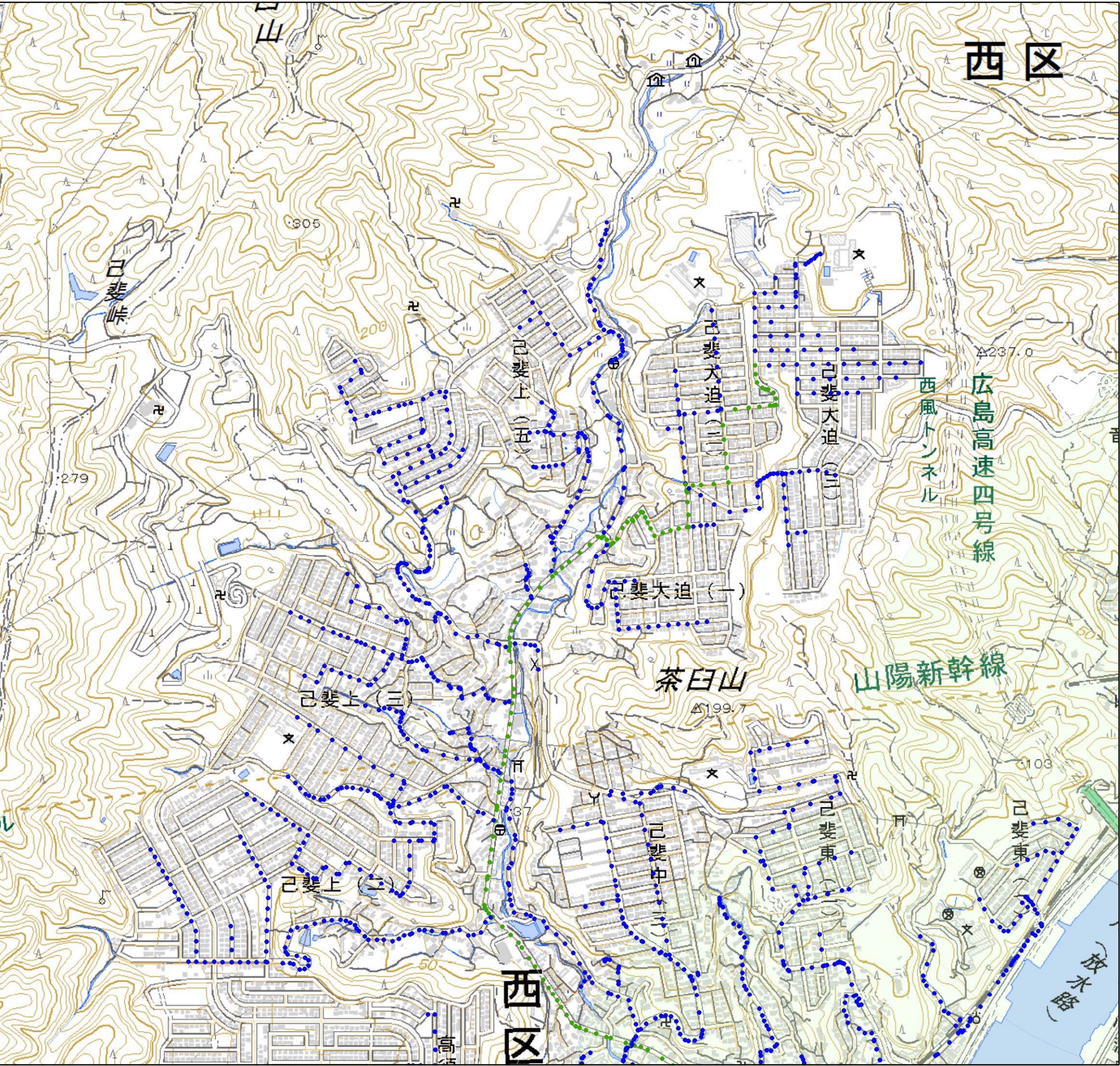
項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度

広島市 西部水資源再生センター



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





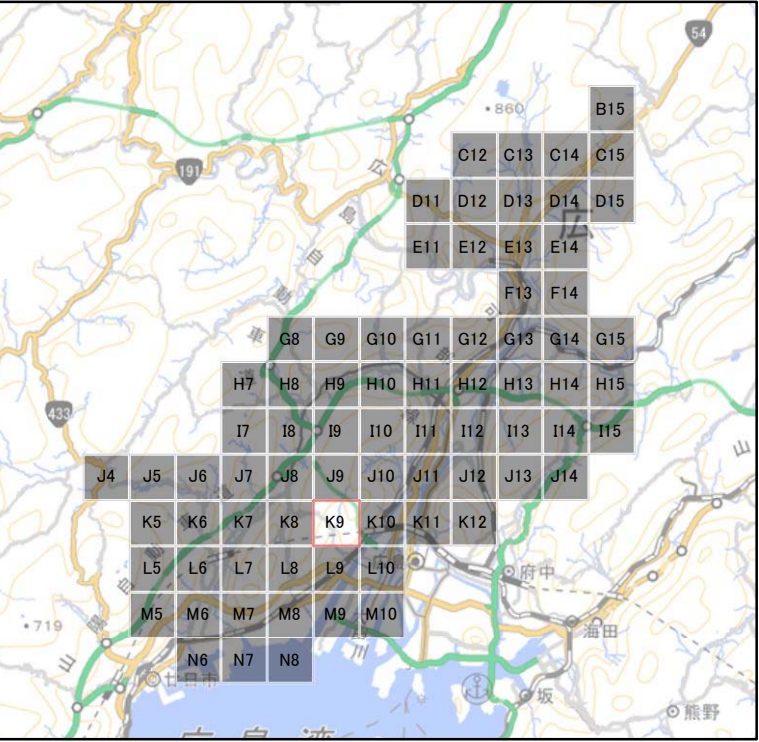
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

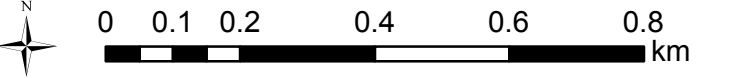
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

※夏季のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





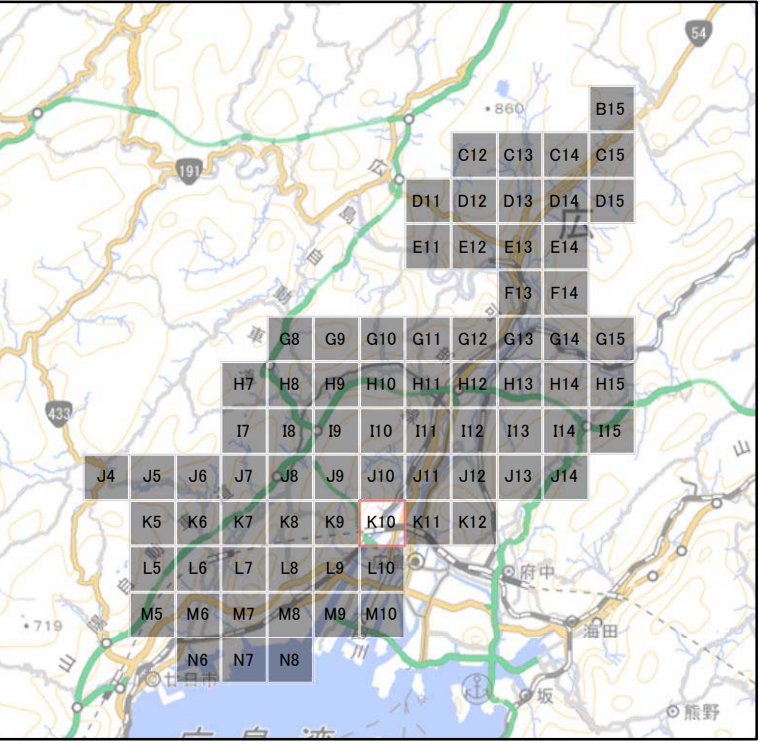
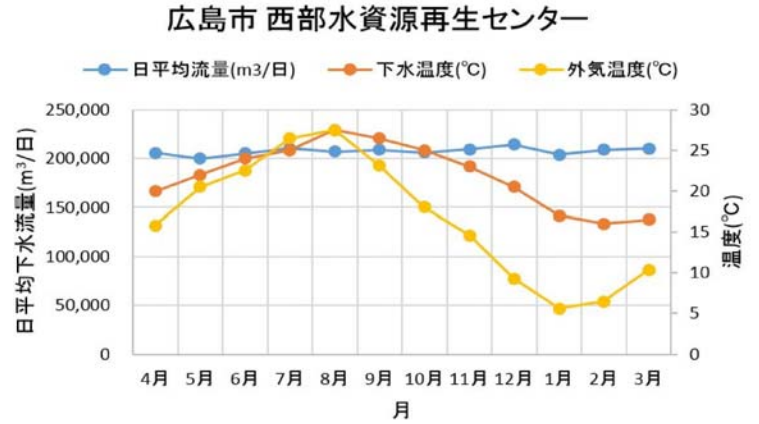
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル	住宅給湯負荷相当の世帯数目安	
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

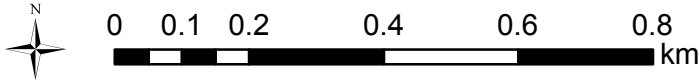
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

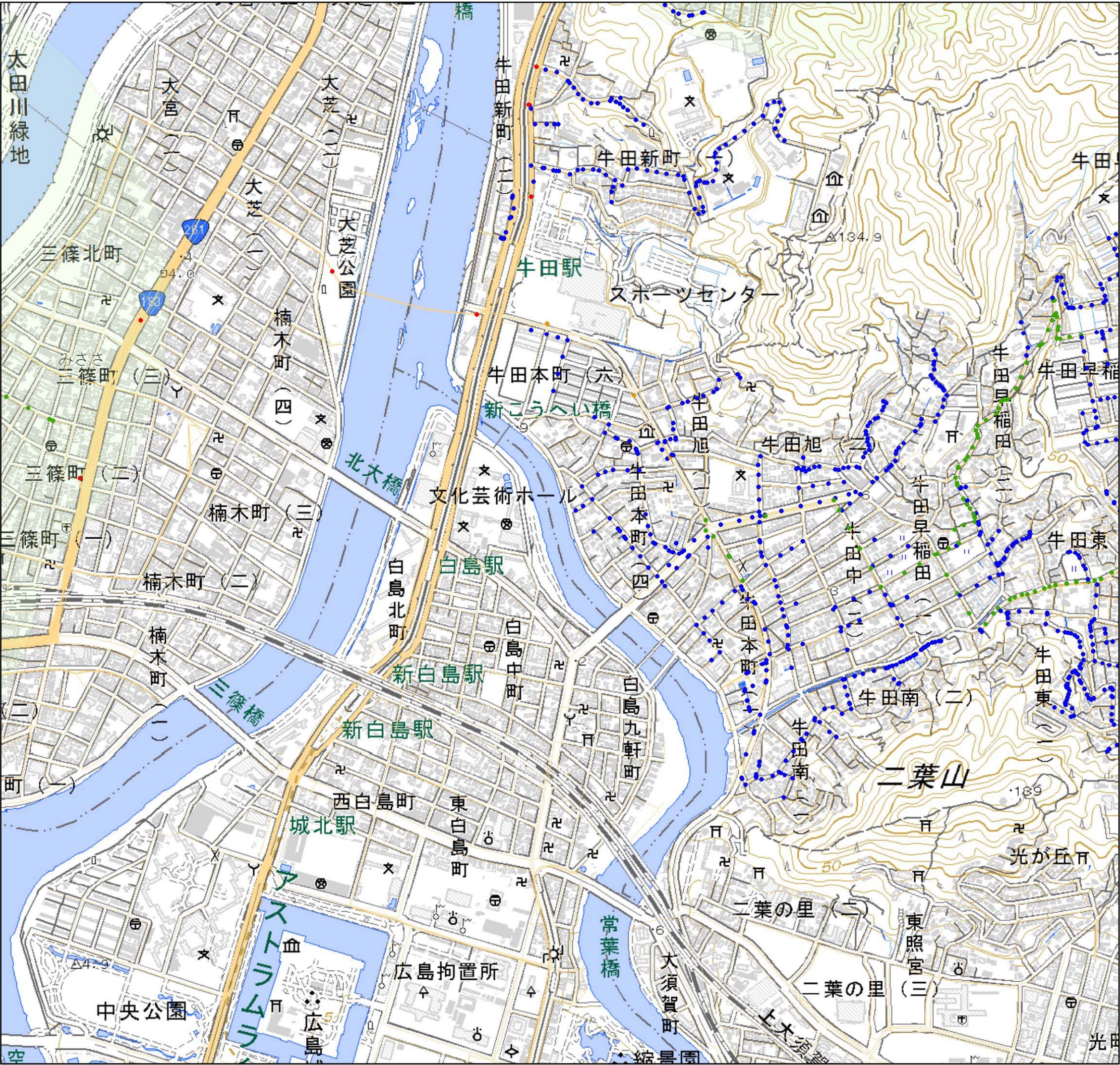
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





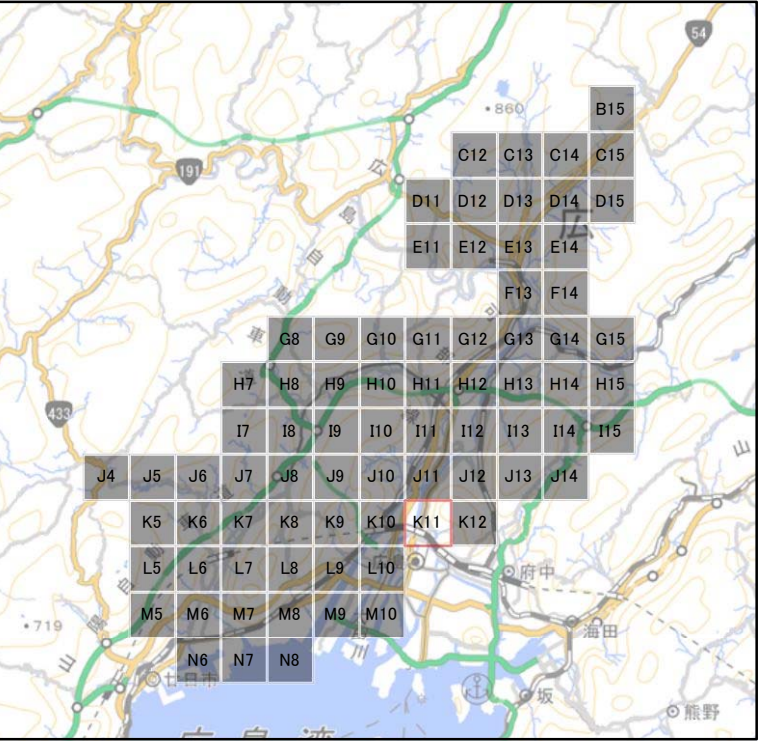
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～	10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)
10,001 ～	100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)
100,001 ～	1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～	[MJ/日]	(29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

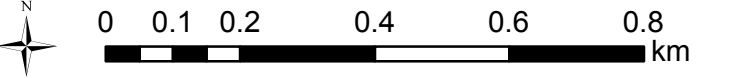
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

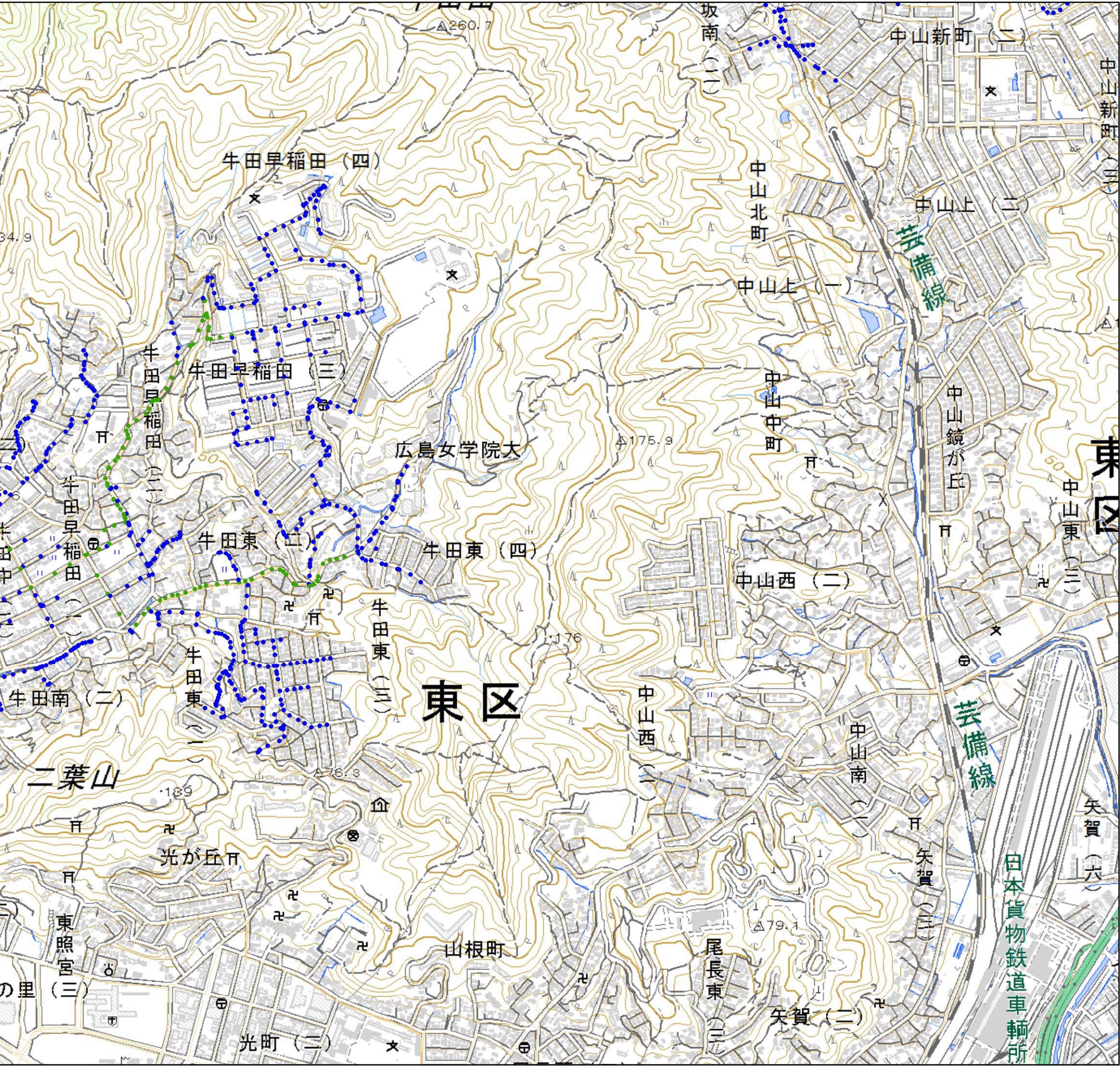
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





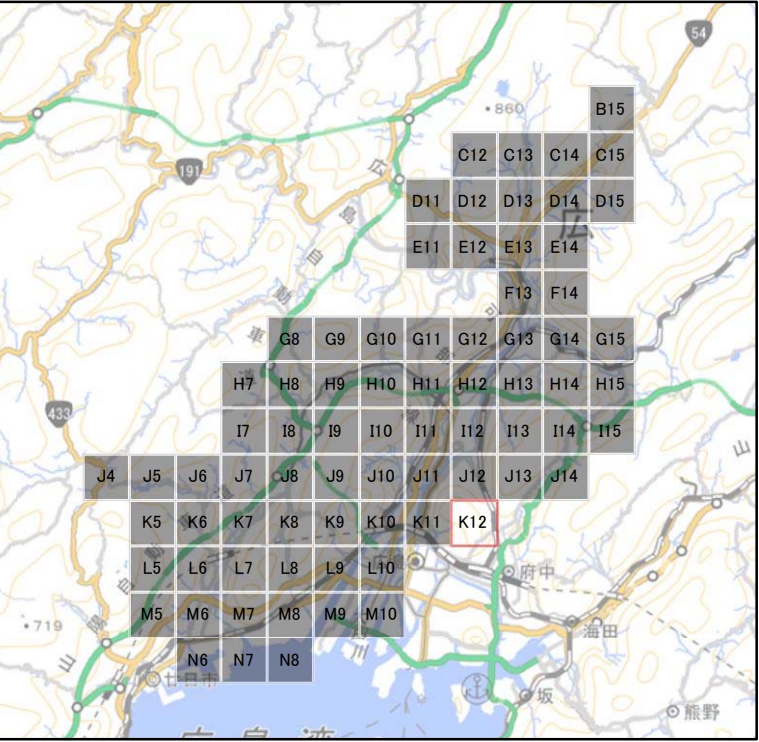
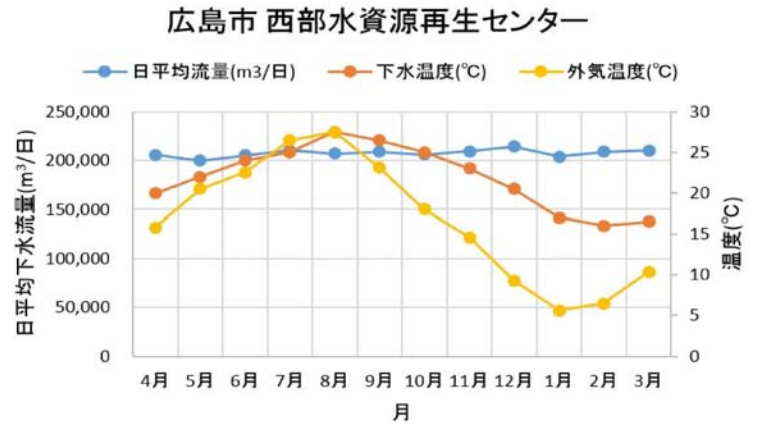
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル	住宅給湯負荷相当の世帯数目安	
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

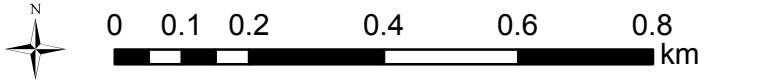
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

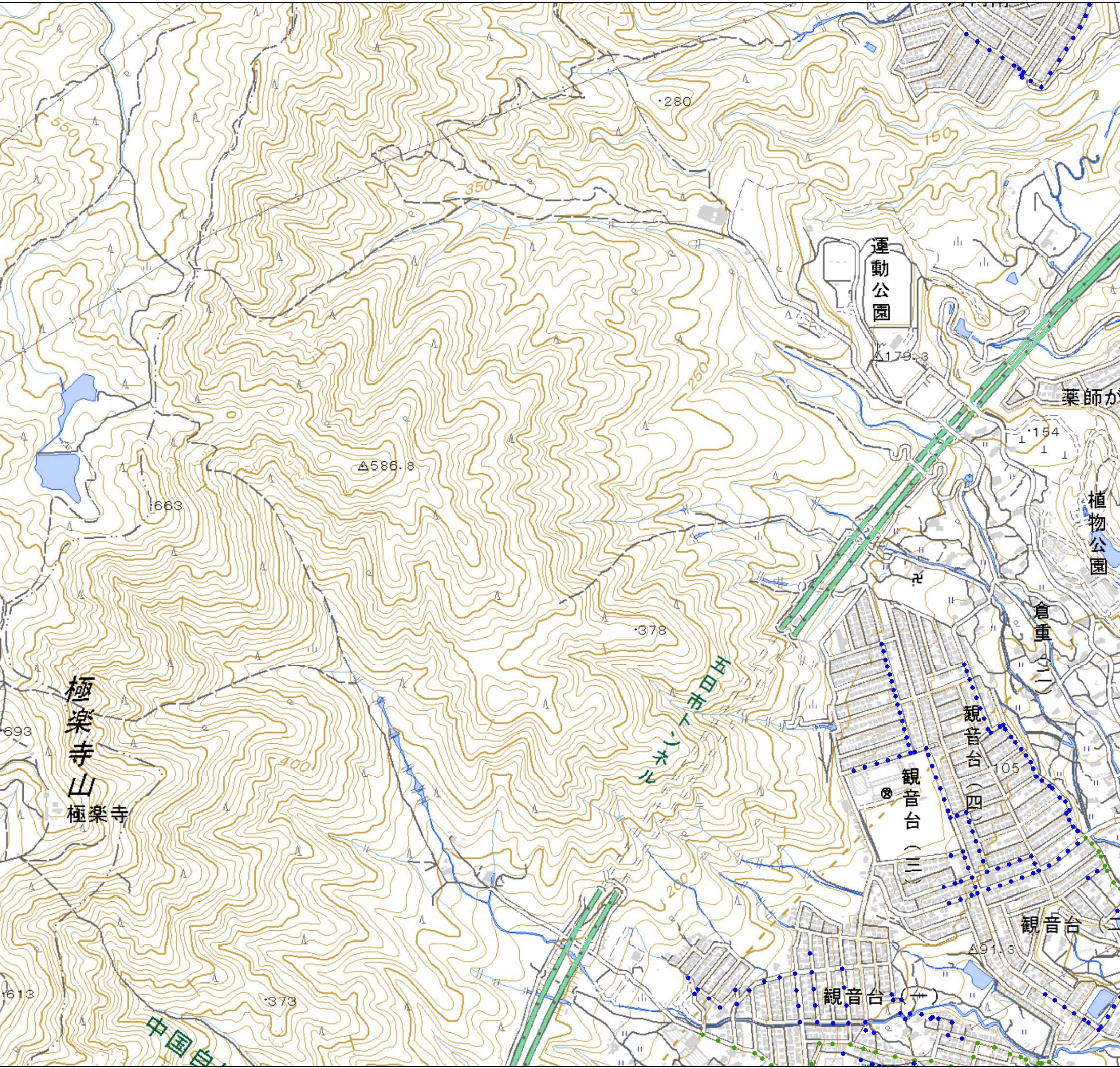
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





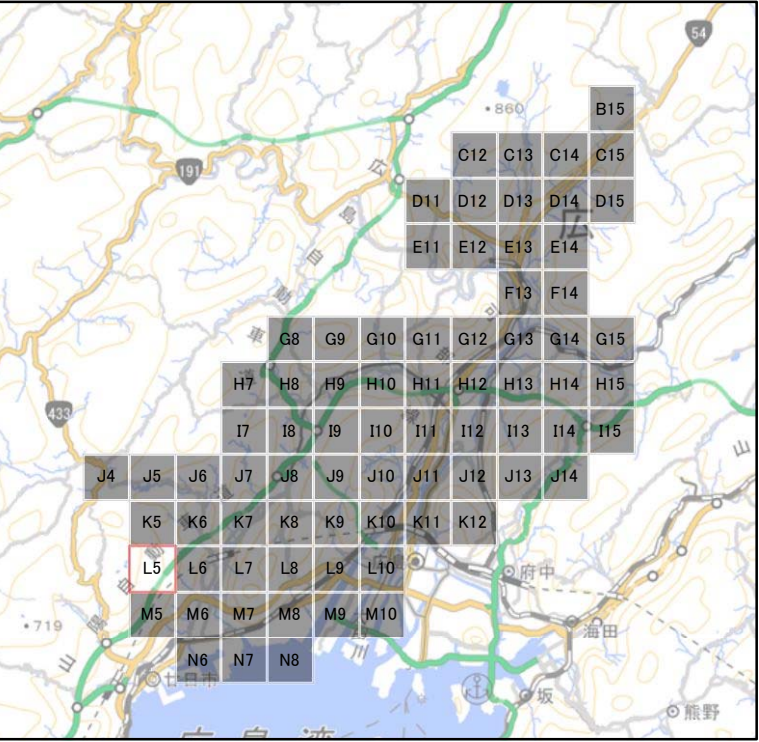
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

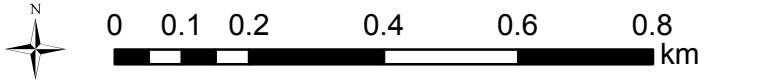
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

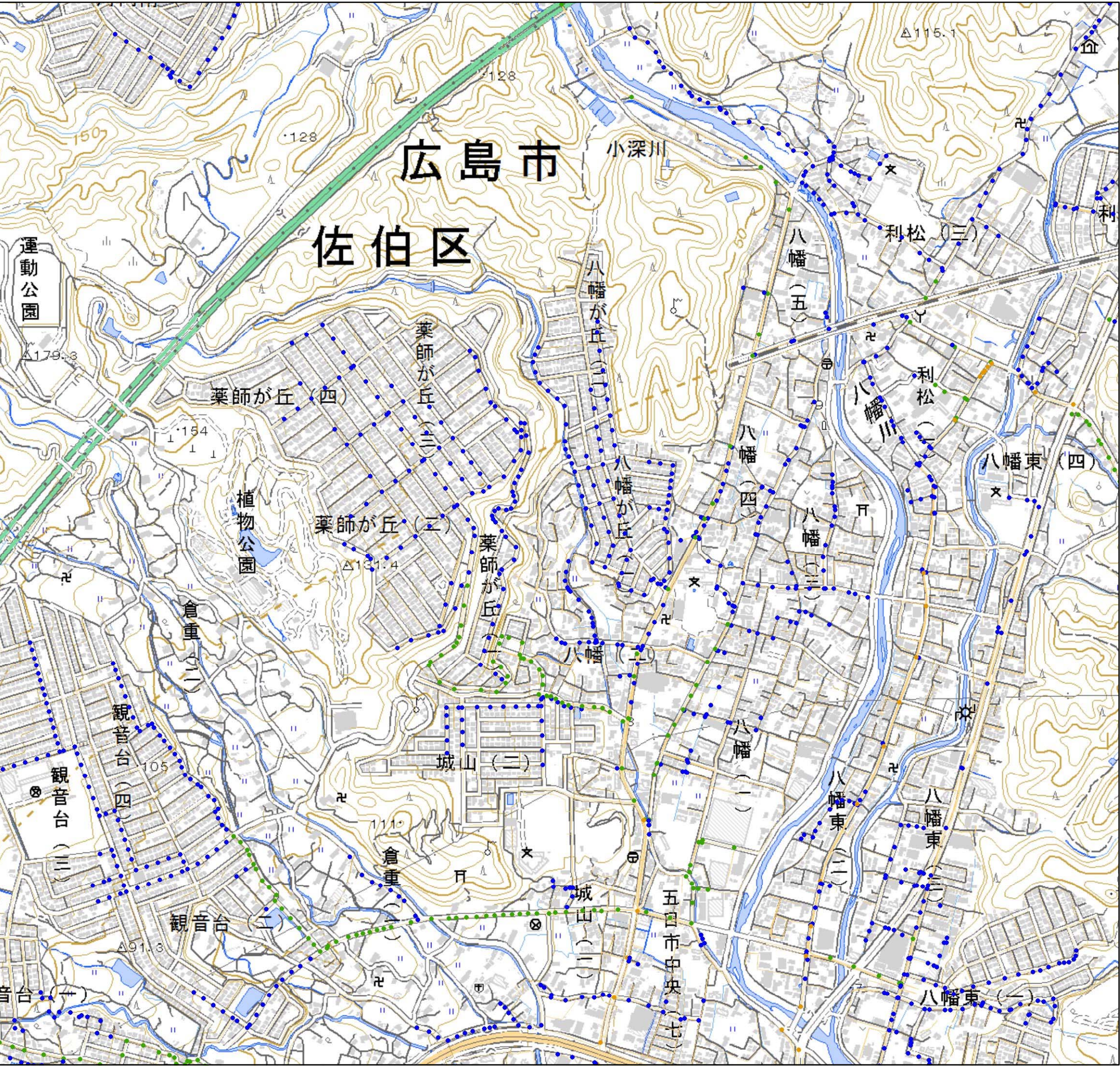
※夏季のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





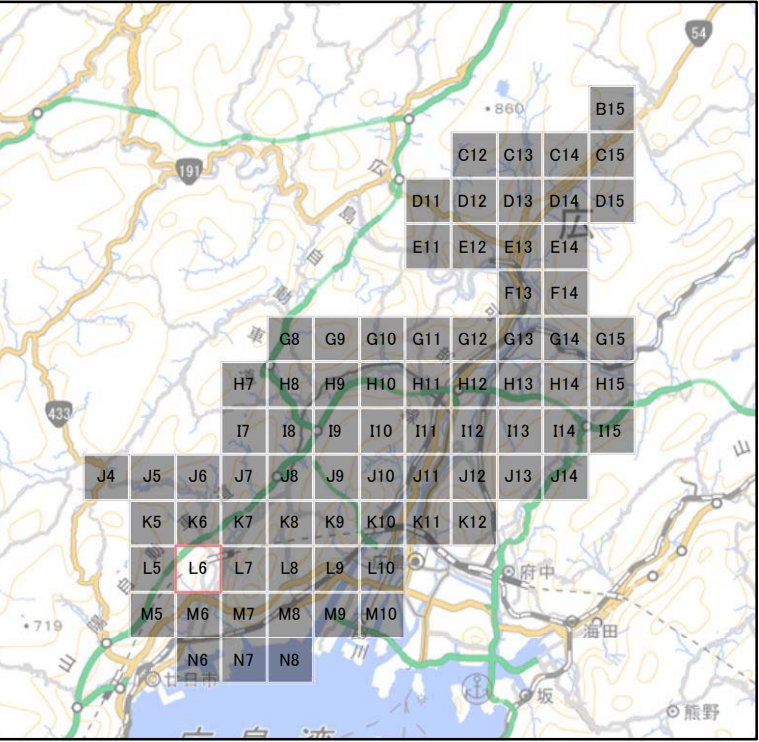
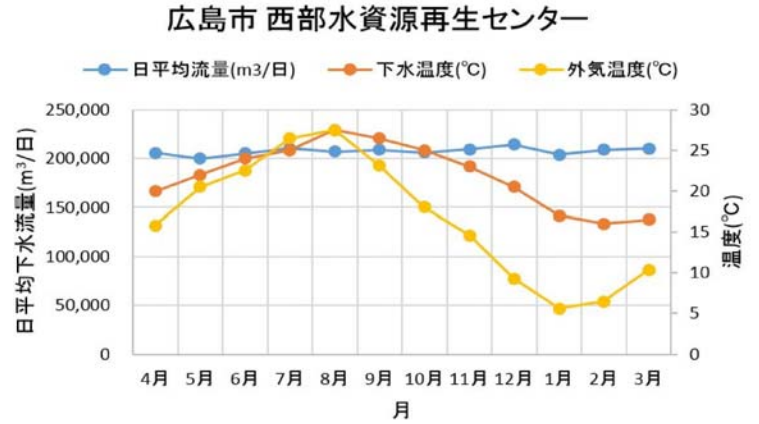
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

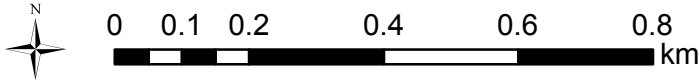
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

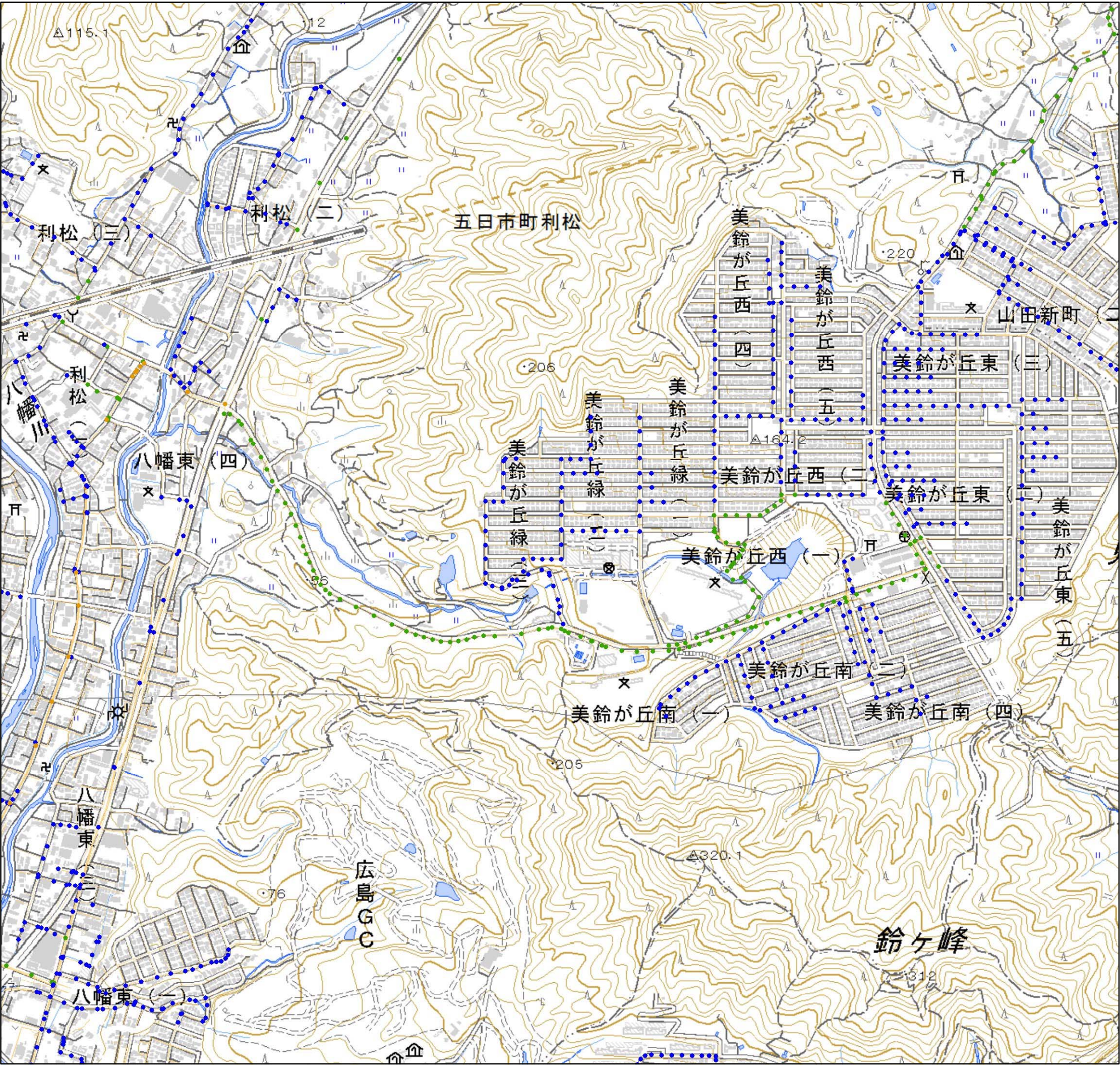
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





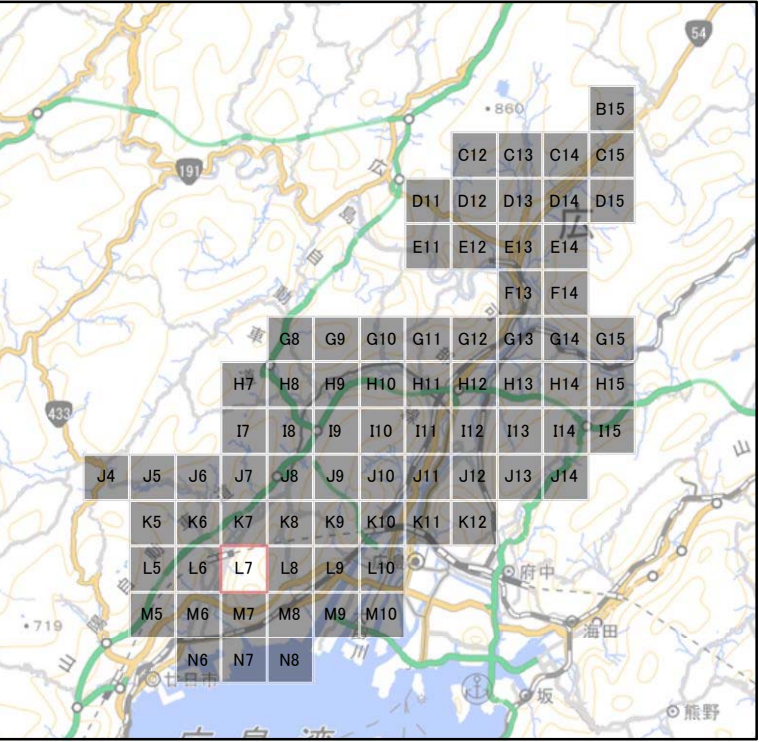
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～	10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)
10,001 ～	100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)
100,001 ～	1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～	[MJ/日]	(29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

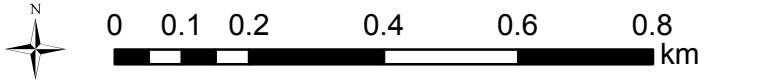
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/㎡年]
住宅1世帯の延べ床面積を100㎡と想定。

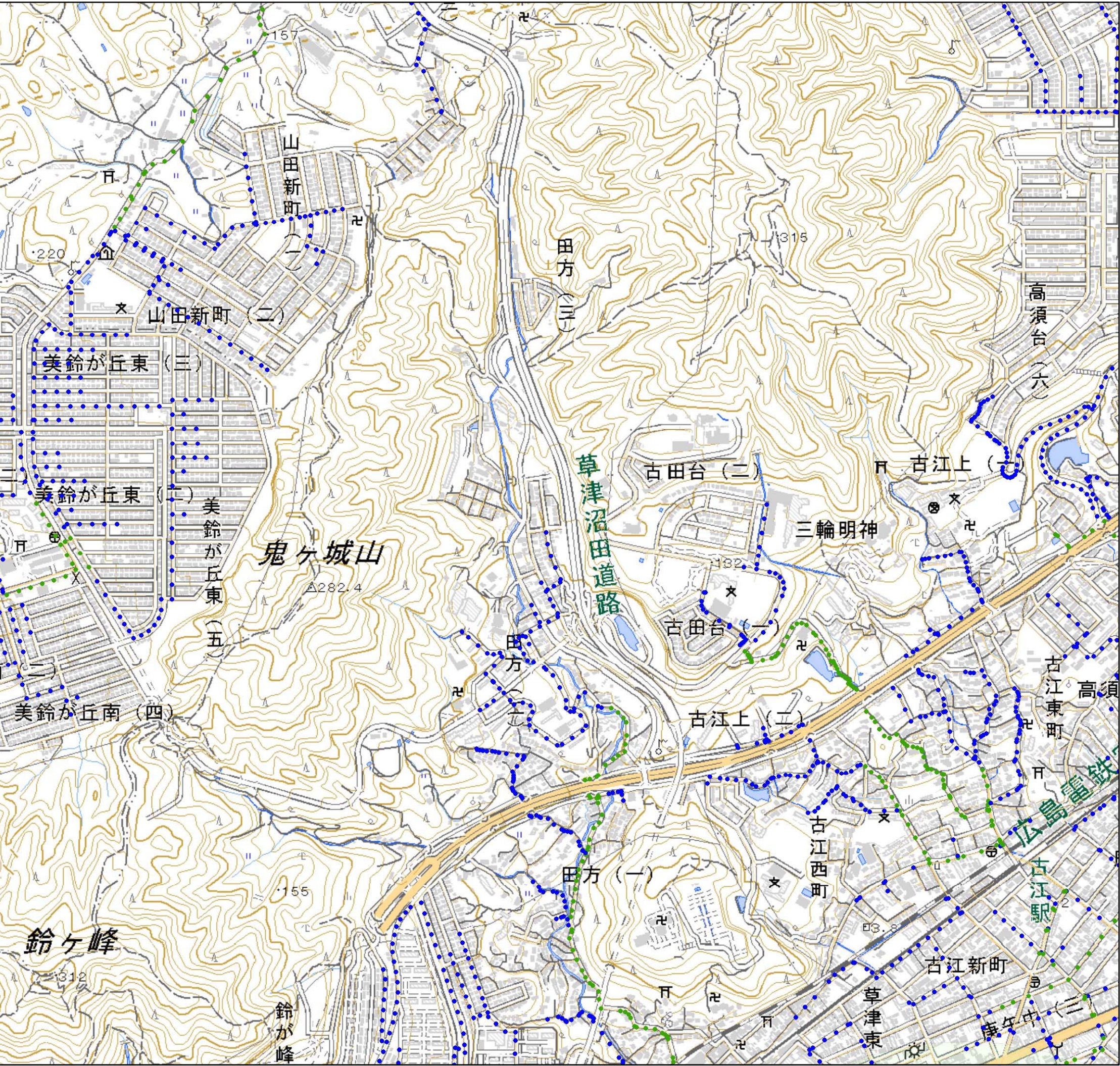
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





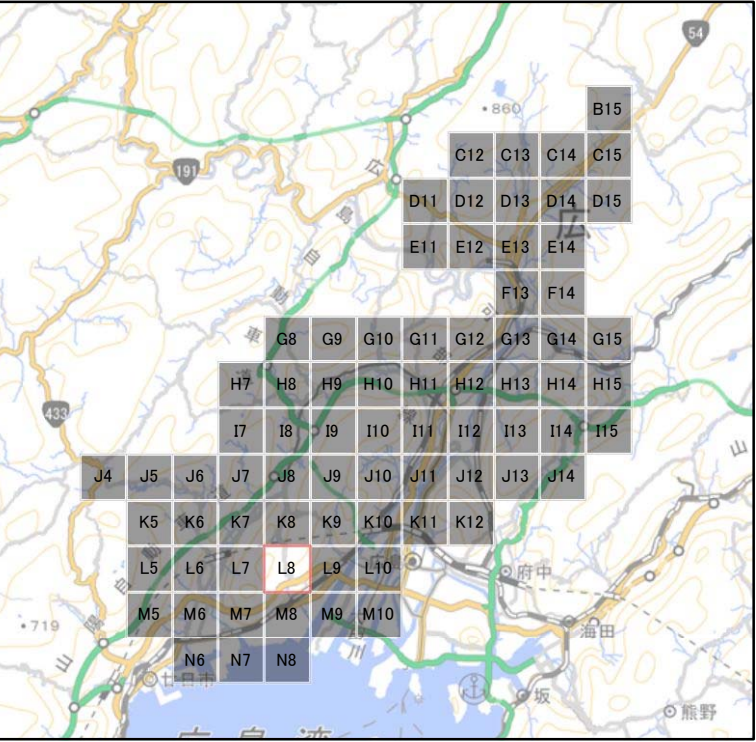
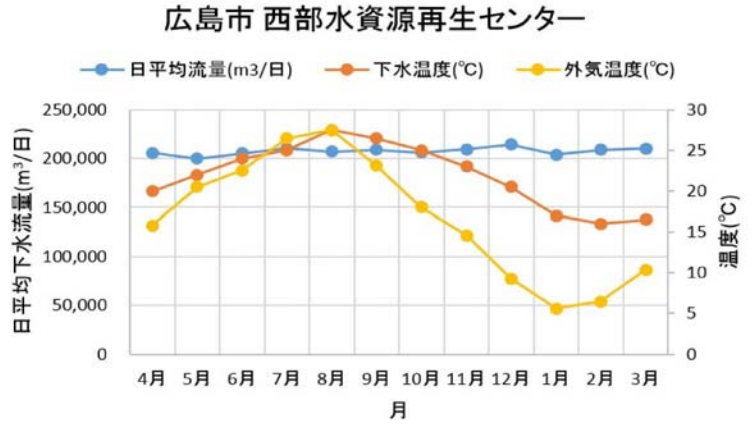
下熱ポテンシャル		
下熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

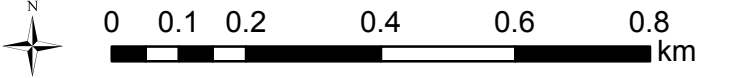
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

※夏期のポテンシャル
※この下熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下熱ポテンシャルマップは、「下熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





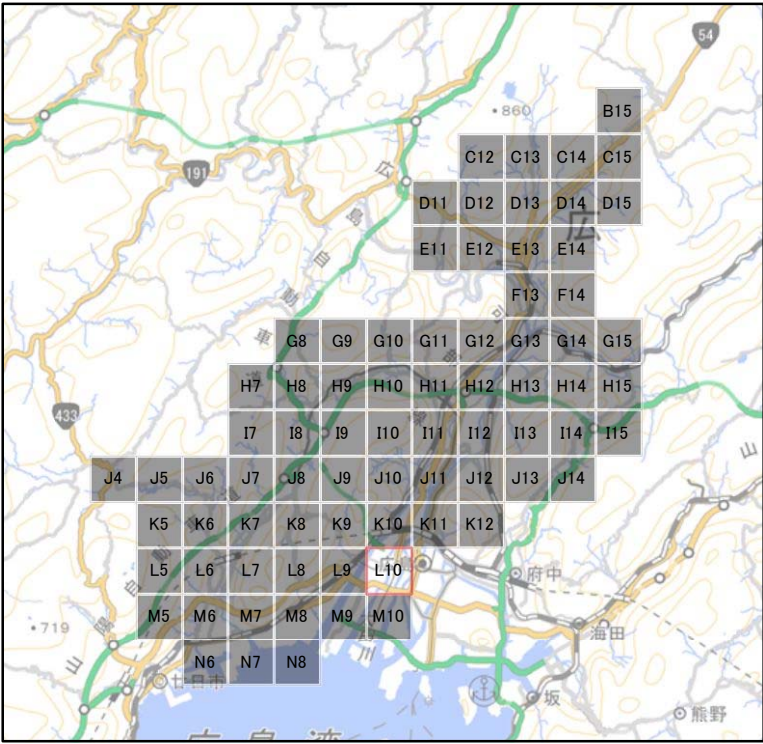
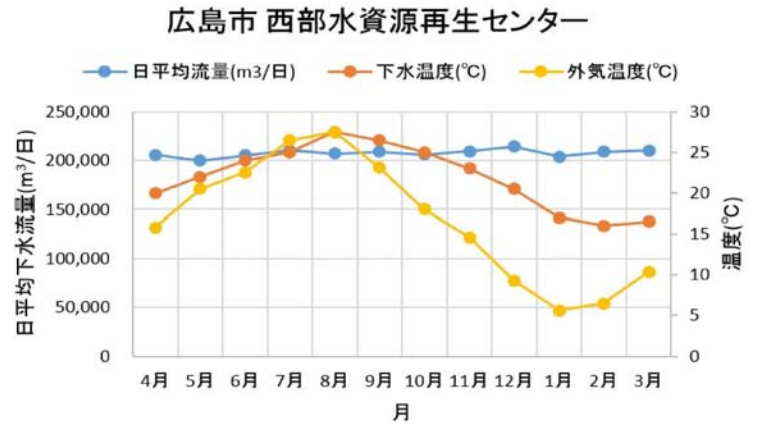
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

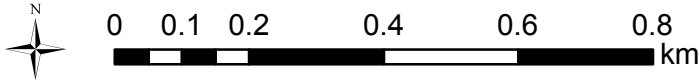
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





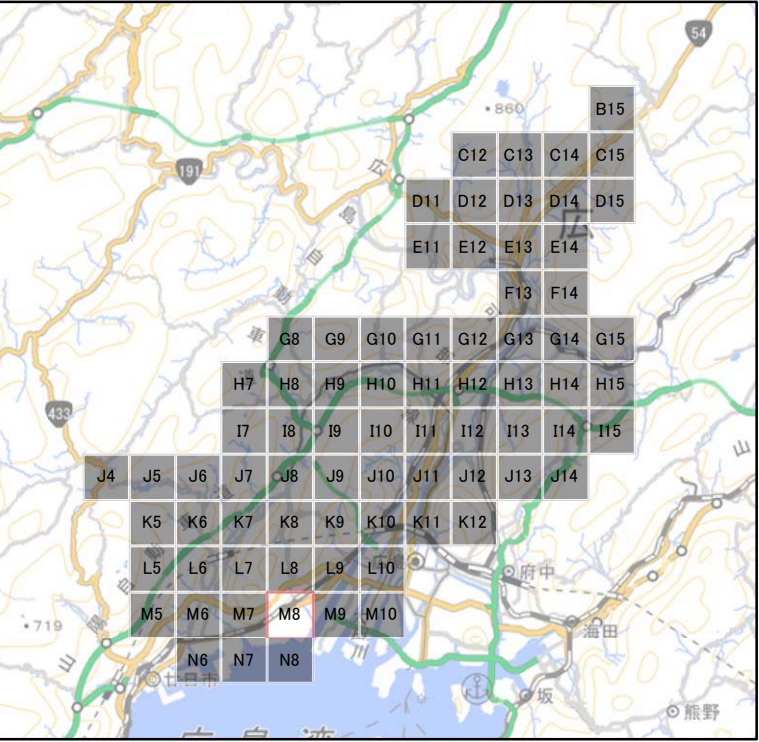
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

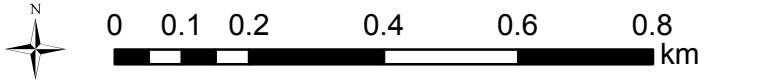
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





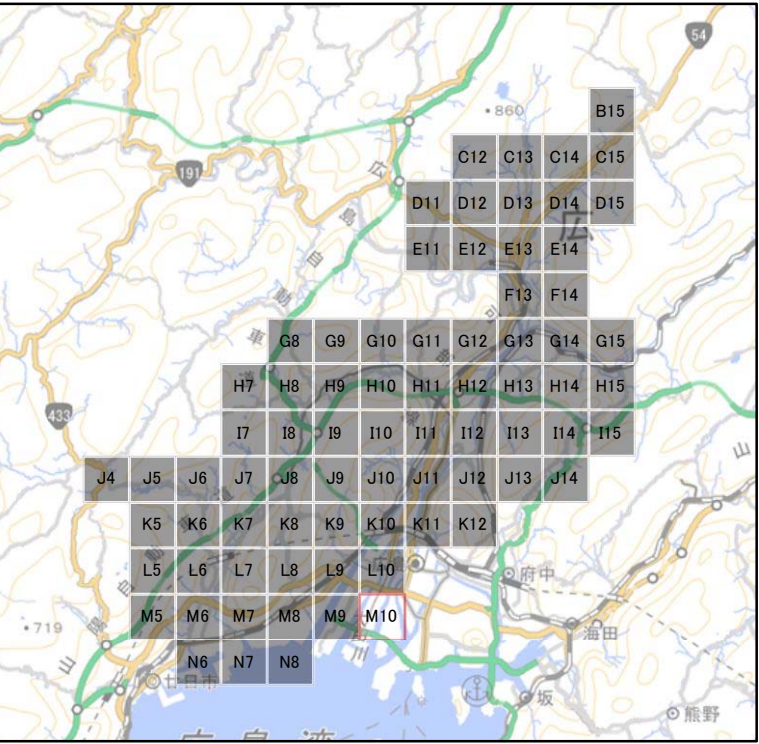
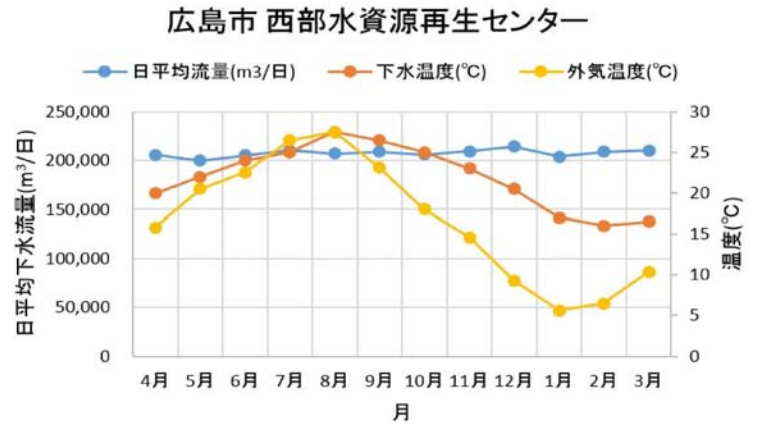
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(	14 ～ 290)
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(	290 ～ 2,906)
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(	2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～ [MJ/日]	(	29,065 ～)

※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

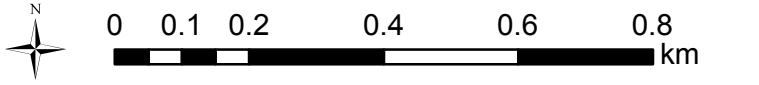
※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





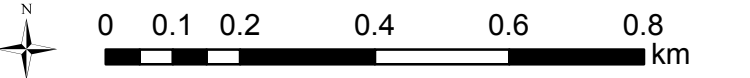
下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	
※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。		
※集合住宅の給湯熱負荷原単位 (空衛学会) 126[MJ/㎡年]		
住宅1世帯の延べ床面積を100㎡と想定。		

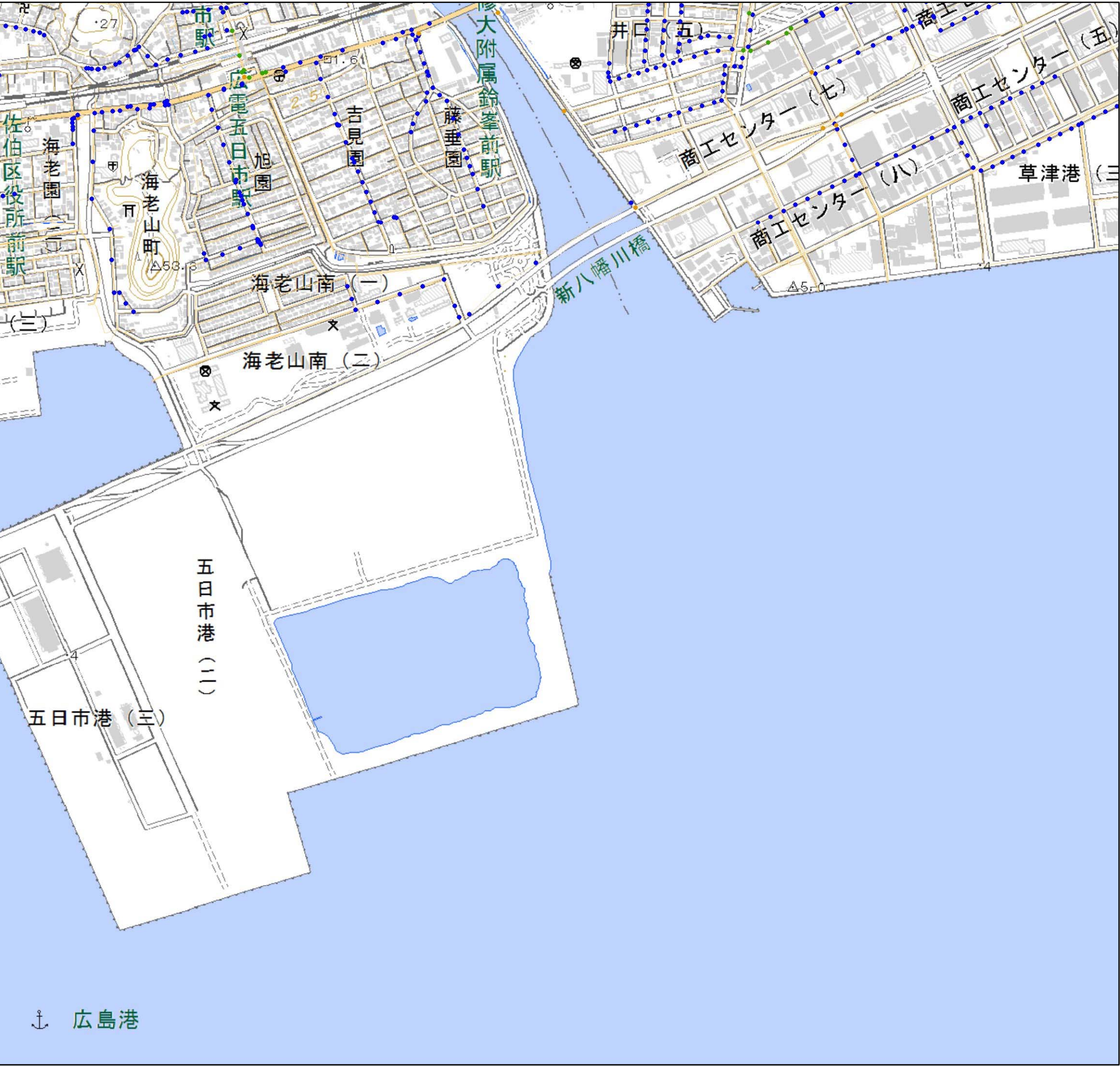
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。





下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～ 10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)	
10,001 ～ 100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)	
100,001 ～ 1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)	
1,000,001 ～ [MJ/日]	(29,065 ～)	

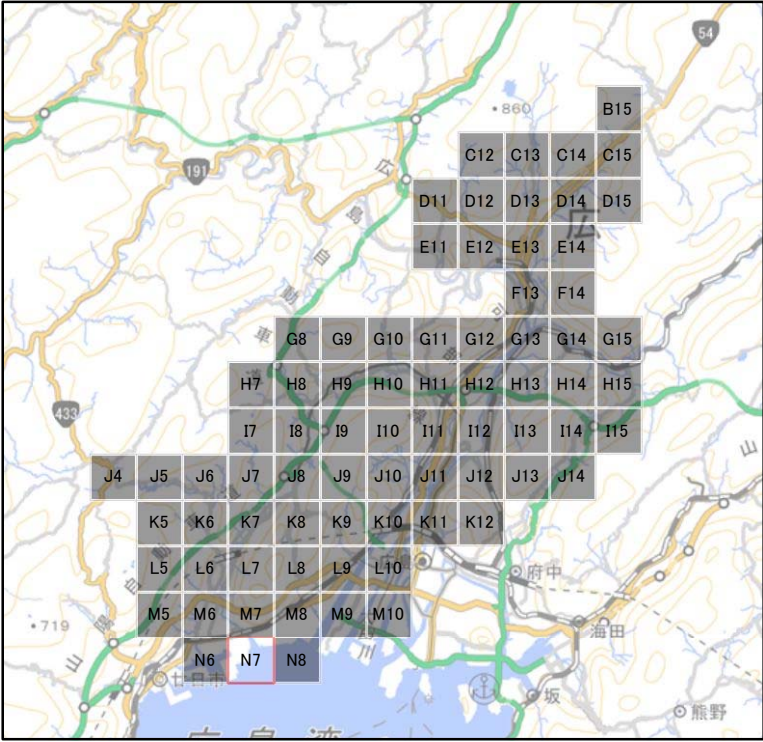
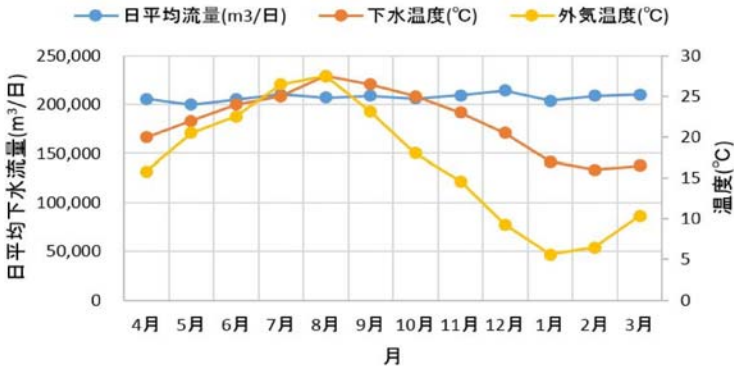
※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

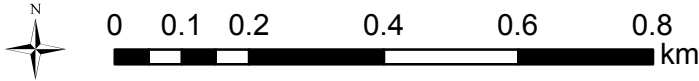
※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度

広島市 西部水資源再生センター



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用する地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp>)を採用している。





下水熱ポテンシャル		
下水熱ポテンシャル		住宅給湯負荷相当の世帯数目安
500 ～	10,000 [MJ/日]	(14 ～ 290)
10,001 ～	100,000 [MJ/日]	(290 ～ 2,906)
100,001 ～	1,000,000 [MJ/日]	(2,906 ～ 29,065)
1,000,001 ～	[MJ/日]	(29,065 ～)

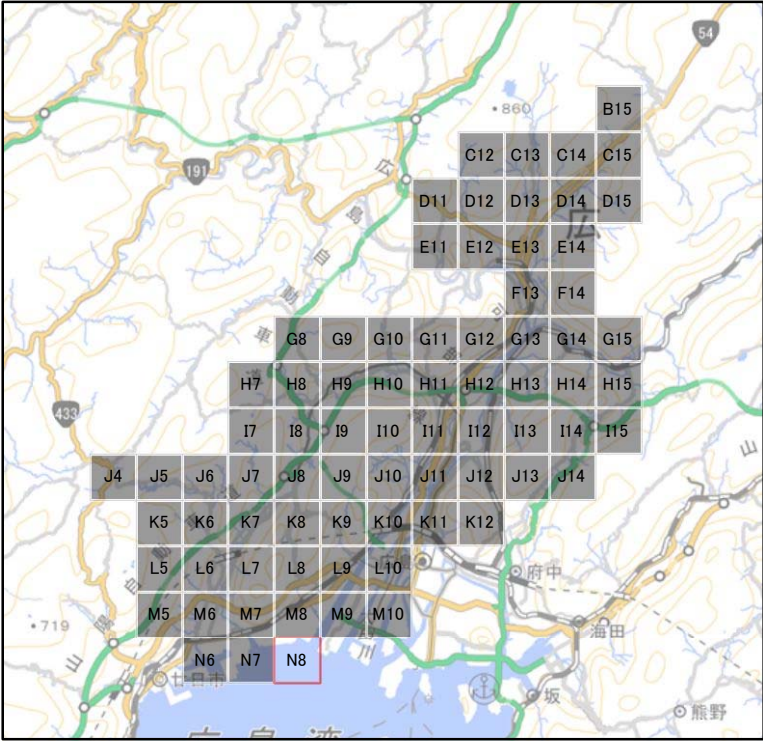
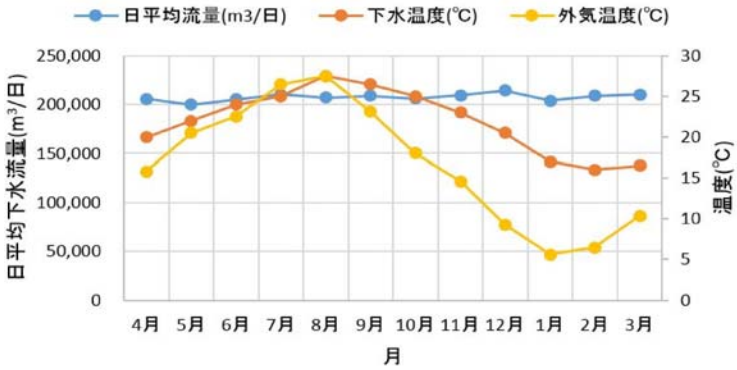
※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

※集合住宅の給湯熱負荷原単位
(空衛学会) 126[MJ/m²年]
住宅1世帯の延べ床面積を100m²と想定。

※夏期のポテンシャル
※この下水熱ポテンシャルマップは、下表の年度の資料により、平成29年度3月時点で作成したものである。

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・人孔図形	平成28年度
	管路・人孔接続情報	平成28年度
建物データ	建物延床面積	平成12年度
	位置情報	平成12年度
下水データ	下水流量 (西部水資源再生センター)	平成27年度

広島市 西部水資源再生センター



【注釈】
○この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き(案)」(平成27年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設、管路内における下水流量実測値等を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
○推計に用いたデータは別表のとおりであり、その後の変化は反映されていない。
○代表日の晴天日ポテンシャルを推計しているため、降雨や降雪等の影響は考慮していない。
【地図イメージの著作権について】
本報告書で使用している地図のベースマップは、Esriの知的財産であり、その画像の使用はライセンスに基づいている。
(Copyright © 2014 Esri and its licensors. All rights reserved.)
なお、ベースとなるマップは、国土地理院「地理院地図データ」(<http://maps.gsi.go.jp/>)を採用している。

